

北播磨新地域ビジョンの概要と検討の進め方について

1 新地域ビジョンの概要

(1) 策定の趣旨

「21世紀兵庫長期ビジョン」の策定から20年、改訂から10年近い時が経ち、世界も日本も大きく変化する中で、今後の兵庫づくりの方向性を県民と共に考え直す時期が来ている。

このことから、現行ビジョンに代わる新しい将来ビジョンを策定する。

(2) 展望年次 ※展望年次：将来を考えるために見通しておく時期

一世代後の概ね30年後の2050年を「展望年次」として検討を進める。

(3) 策定期期

令和4年(2022年)3月

(4) ビジョンの基本的な考え方

「計画」ではなく「ビジョン」

達成する目標を掲げ、そのために実施すべき行政施策や事業の総量を示す行政主導型の「計画」ではなく、県民、企業、団体・NPO、行政等の多様な社会の行動主体が、進むべき道を共有できる望ましい社会の姿を示す、県民だれもの「ビジョン」とする。



(5) 新ビジョンの構成

現行ビジョンでは、4つの社会像からなる「全県ビジョン」に加え、共通の特性を有する地域ごとに県民が主体となって地域の将来像と行動目標を示す「地域ビジョン」を策定している。

新ビジョンでも、現行ビジョン同様、全県ビジョンと地域ビジョンを策定する。

- ◆ 県全体の視点から見た「全県ビジョン」と、圏域ごとに住民が将来像を描いた「地域ビジョン」で構成
- ◆ 地域ビジョンと全県ビジョンが将来像を共有



(6) 新地域ビジョンの性格

新全県ビジョン

新地域ビジョンの大枠ともなる県全体の骨太な将来像を示すもの

《新全県ビジョンに期待される性格》

- ・出発点として、人口減少等の社会変化の趨勢をもとに自然体の兵庫の将来像を示すこと
- ・県民の価値観や生活様式の変化の行方を見通し、選択可能な未来として将来像を示すこと
- ・予測困難な未来に対して、県民が共有できる「なりたい姿（理想像）」を骨太に示すこと

新地域ビジョン

共通の特性を有する地域ごとの将来像と行動目標を示すもの

《新地域ビジョンに期待される性格》

- ・人口減少等の社会変化の様相を地域の特性に合わせて分かりやすく「見える化」すること
- ・住民が共有できる「なりたい姿」を大胆に描き、中長期的な地域づくりの方向性を示すこと

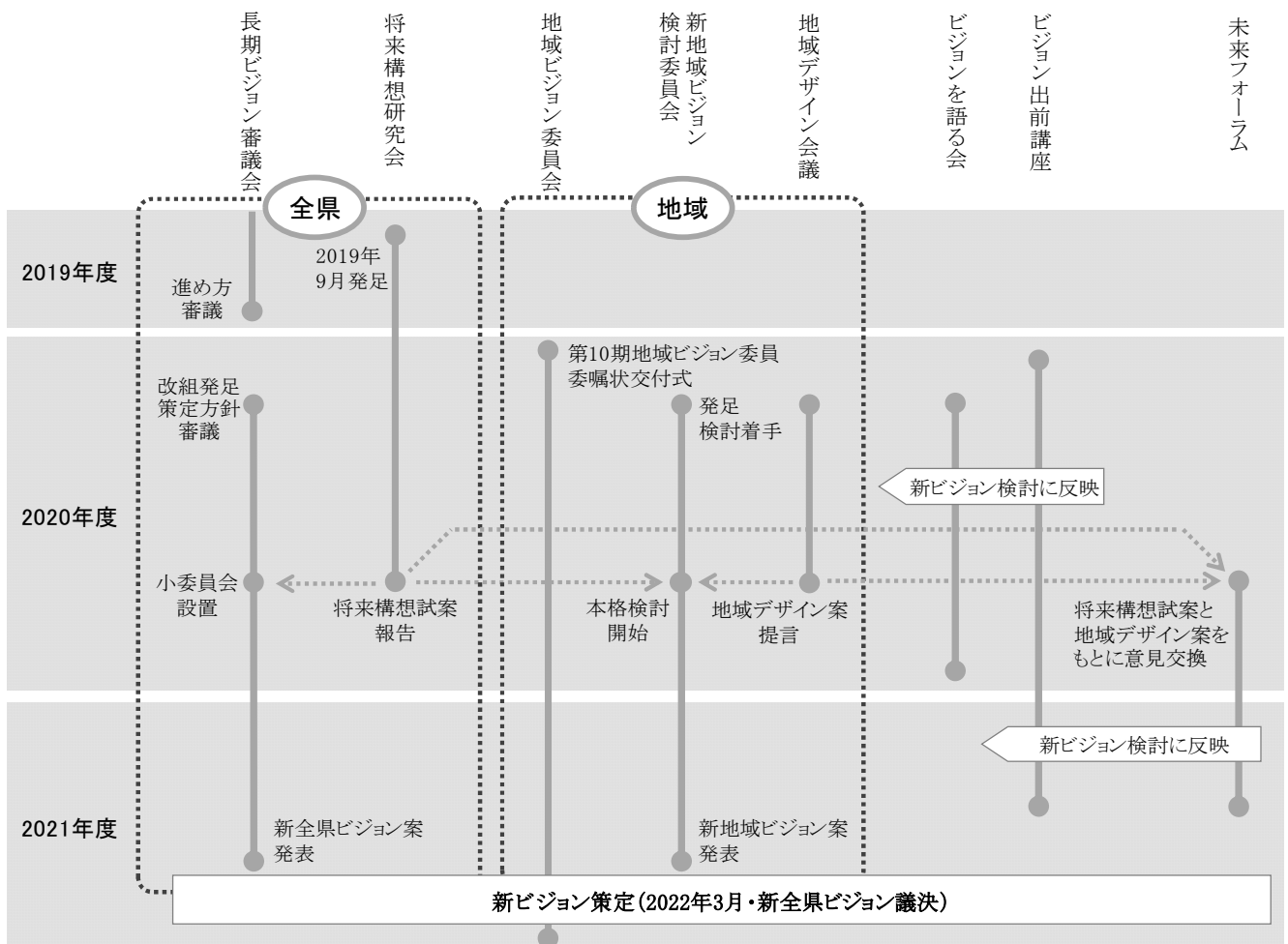
2 全体スケジュール（大まかな流れ）

（1）新全县ビジョン

- ① 学識者で構成する「将来構想研究会」で、新全县ビジョンのたたき台となる「将来構想試案」を作成する。
- ② 「将来構想試案」を受けて「長期ビジョン審議会」において新全县ビジョン案を取りまとめる。（小委員会を設置して検討）

（2）新地域ビジョン

- ① 新地域ビジョンの策定主体となる「新地域ビジョン検討委員会」を設置する
- ② 「将来構想試案」や、地域の若手住民有志がワークショップ等を行う「地域デザイン会議」で作成する将来の「地域デザイン案」等を踏まえ、「新地域ビジョン検討委員会」で議論のうえ、新地域ビジョン案を取りまとめる。



3 新地域ビジョン検討の進め方

(1) 北播磨新地域ビジョン検討委員会

①役割

- ・地域の資源や課題の調査
- ・新地域ビジョン案の検討・取りまとめ
- ・未来フォーラム等の実施

②委員会の開催

- ・形式：対面形式・オンライン形式・書面形式を実施する
◎骨子案検討や素案検討にあたっては改めて部会を設置することも想定
- ・回数：概ね1ヶ月～2ヶ月に1回程度開催

③ 検討の進め方

ア 課題等の整理 (2020年12月頃まで)

- ・事業者、地域団体、外国人、学生、若手社会人、ビジョン委員等へのアンケートにより、地域課題・資源、地域のめざすべき方向性、キーワードなどを抽出
- ・アンケート結果を地域デザイン会議とも共有しながら、課題や地域の将来像等を整理

イ 新地域ビジョン骨子案の検討・取りまとめ (2021年6月頃まで)

- ・上記の整理と、「将来構想試案」及び地域デザイン会議作成の「地域デザイン案」等を基に、ビジョン委員とも意見交換を行いながら、新地域ビジョンの骨子案等を取りまとめ

ウ 新地域ビジョン案の検討・取りまとめ (2021年12月頃まで)

- ・上記骨子案を基にビジョン委員とも意見交換を行いながら、新地域ビジョン素案を取りまとめ
- ・地域住民等が参加する「未来フォーラム」や、その他、地域団体等のメンバーやビジョン委員OBとの「ビジョンを語る会」において、新地域ビジョン素案について意見交換を行ったうえで新地域ビジョン案を策定

エ 新地域ビジョン策定 (2022年2月頃まで)

- ・新地域ビジョン案に対するパブリック・コメント手続等を経て、新地域ビジョンが決定される予定

(2) 県民との意見交換

- ・県政の基本姿勢である「参画と協働」により新ビジョンの策定を進めるため、様々な形で県民との意見交換を実施
- ・意見交換については、以下の会議形式を見本に様々な形で実施を予定

①地域デザイン会議 [時期] 2020年12月まで

- 若手住民有志が討議を重ねて将来の地域デザインを描くワークショップを開催
※未来人になって望ましい地域の姿を描く「フューチャーデザイン」など効果的な手法を導入

②ビジョンを語る会 [時期] 主に2020年度中

- 地域の様々な団体・グループのメンバーと地域の課題や将来像について車座形式で対話

③ビジョン出前講座 [時期] 主に2020年度～2021年度前半

- 若者がグループワーク形式で兵庫の未来を考える出前講座を高校、大学等で実施

④未来フォーラム [時期] 主に2020年度後半～2021年度前半

- 新ビジョン案(全県・地域)の方向性にかかる説明会・意見交換会を開催

		北播磨新地域ビジョン検討委員会	地域デザイン会議	ビジョン委員会
20 年度	7	アンケート① 管内高校生 管内団体 外国人	第1回 新地域ビジョンの策定について 委員長副委員長選任 新ビジョン進め方について 現行ビジョンについて アンケート内容の確認	アンケート② ビジョン委員
	8		書面会議(1) アンケート結果を基に抽出した地域課題について意見交換 書面会議(2) 書面会議(1)での委員意見を踏まえ整理した地域課題についての確認 書面会議(3) アンケート結果や書面会議(2)で整理した地域課題を基に地域のめざすべき方向性について意見交換 書面会議(4) 書面会議(3)での委員意見を踏まえ整理したものの全て方向性について確認 ※必要に応じて対面形式により開催	①②を提供 1回目
	9			第1回企画部会
	10		共有 2・3回目	
	11		第2回 地域の将来像について 4回目	
12	将来構想試案 提示	第3回 新地域ビジョン骨子案検討開始 提示	5回目 地域デザインまとめ	
1	進捗状況提示	第4回 新地域ビジョン骨子案検討	進捗状況提示	第2回企画部会 分科会で委員に周知
2	未来フォーラム ビジョンを語る会 意見交換会	第5回 新地域ビジョン骨子案検討	意見反映	
3	結果を反映	第6回 新地域ビジョン骨子案検討		第3回企画部会
21 年度	4	第7回 新地域ビジョン骨子案検討(予備)		
	5	第8回 新地域ビジョン骨子案策定		第4回企画部会
	6	第9回 新地域ビジョン素案の検討		
	7	第10回 新地域ビジョン素案	進捗状況(素案)提示	第5回企画部会 分科会で委員に周知
	8	進捗状況提示 第11回 新地域ビジョン素案	意見反映	
	9	未来フォーラム 意見交換会		
	10	意見を調整 第12回 新地域ビジョン案協議	新ビジョン案の提示	第6回企画部会
	11	第13回 新地域ビジョン案協議(予備)		
	12	第14回 新地域ビジョン案協議		
	1	第15回 新地域ビジョン案協議(予備)		第7回企画部会
2	パブリック・コメント実施予定			
3	新地域ビジョン策定			

※骨子案・ビジョン案検討の部会を設置した場合は検討委員会の会議と会議の間に部会を別途開催する予定
 ※ビジョン委員会の企画部会の開催時期は、例年の開催を基にした現時点での提示

北播磨地域ビジョンアンケート（案）

兵庫県では、30年後の北播磨地域（小野市・加西市・加東市・三木市・多可町・西脇市）をどのような地域にしていくかの地域ビジョンを策定します。

この地域ビジョンは、北播磨地域に対するみなさんの思いや意見を基に策定したいと考えています。地域コミュニティ／産業／環境／教育／交通インフラ／文化芸術／福祉／医療／防災などの幅広い視点で、今感じていること、描く未来について、30年後の北播磨を思い描きながらお答えください。

1 北播磨地域の「残していきたいこと」「なくなってほしくないこと」はなんですか？（自由記述）

[]

2 北播磨地域がどんな地域になっていたら良いと思いますか？（自由記述）

[]

3 北播磨地域に住んでいて、感じる課題についてお聞かせください。（自由記述）

[]

4 その課題を解決するために、取り組まれていることはありますか？どんなに小さなことでもかまいません。取り組みについてお聞かせください。（自由記述）

[]

5 北播磨地域（イメージがしにくい場合は、住んでいる地域）に対する現在の満足度をお聞かせください。

1 大変満足 2 満足 3 ふつう 4 不満 5 大変不満

その理由をお聞かせください（自由記述）

[]

6 北播磨地域について、思うこと、感じていることなど自由にお聞かせください。

[]

ご年代（ 代） 性別（男性・女性・どちらもない） 居住地域（ 市・町）

北播磨地域ビジョン 2020 の取組み

「こんな北播磨にしたい」という「夢」を住民自らが描き、その実現に取り組む自律・分権型の「ビジョン」として、2001年(平成13年)2月、全県ビジョンの策定に合わせて「北播磨地域ビジョン」が策定された。

その後、時代の変化や新たな課題に迅速・的確に対応するため「北播磨地域ビジョン」の見直しを行い、2040年を展望しつつ2020年を想定して平成23年(2011年)11月「北播磨地域ビジョン2020」が改訂された。

この「北播磨地域ビジョン2020」を県民への普及を図るとともに、地域ビジョンが描く将来像の実現に向け、ビジョン委員を中心に県民の参画を得ながら、豊かな地域資源など地域の特性を生かした取組を推進した。

1 北播磨地域ビジョン 2020 の概要

(1)改訂時期 平成23年11月

(2)概 要

①将来像:「ひょうごのハートランド」

- ・地域にかかわる人々が夢を持って元気にきらめいている姿
- ・北播磨地域を構成するそれぞれのまちが魅力にあふれている姿
- ・人やまちが支え合うことでそれぞれの力を高めあう姿

※「北播磨地域ビジョン」で掲げられた将来像を踏襲

②取組方向

○交流と絆づくり

大都市との近郊性を活かし、まちむら交流や地域間交流を促進するとともに、人との絆、地域の絆を深める

○多核連携型地域づくり

歴史や文化、豊かな自然、都市基盤など各市町のユニークさを生かし、結び逢う地域づくりを進める

○県民総参加の北播磨づくり

県民だれもが北播磨づくりに参画する

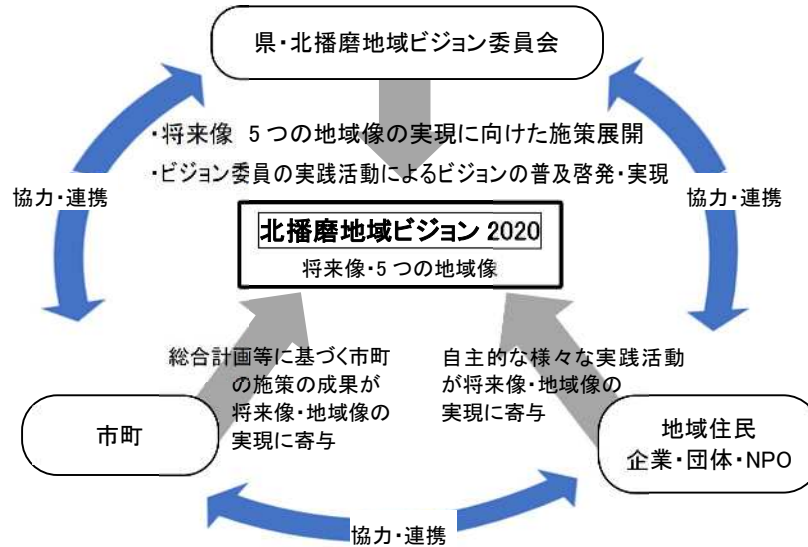
③めざすべき5つの地域像

地域住民が一体となってめざしていく地域像として「交流が広がる」、「生活(くらし)の絆が深まる」、「文化が花開く」、「恵み豊かな環境が持続する」、「元気な産業が興る」の5つを描き、それぞれに「取組目標」や取組内容としての「アクション」を設定

※詳細は別添「北播磨地域ビジョン2020取組体系一覧表」を参照

2 地域ビジョンの実現に向けた取組の展開

(1) ビジョンの実現に向けた取組の展開



(2) 北播磨地域ビジョン委員会の活動

ビジョン委員が、地域ビジョンの理念の県民への浸透や、新たな将来像の実現に向けた実践活動を展開している。

- ・構成：地域ビジョン委員
 専門委員（学識経験者・管内市町職員）
- ・活動内容：地域ビジョンの理念の普及啓発、実践活動の推進、
 地域夢会議（事例発表・全体意交換）の開催、地域ビジョンの進捗状況の評価・検証
- ・会議の設置：全体会（委員会の運営等に関する重要事項を協議）
 企画部会（委員会の運営方針を検討）
 広報部会（地域ビジョンの普及啓発方策を検討）
 分科会（地域像の実現に向けた取組を推進）

(参考) ビジョン委員就任状況

期別	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期		第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	H13・14	H15・16	H17・18	H19・20	H21・22	H23	H24・25	H26・27	H28・29	H30・31	R1・2
委員数(人)	93	106	104	101	111	103	70	70	72	53	55
新任/再任(人)	—	66/40	68/36	63/38	90/21	85/18	37/33	37/33	30/42	23/30	37/18
男性/女性(人)	58/35	57/49	59/45	58/43	63/48	62/41	46/24	39/31	39/33	29/24	24/31
平均年齢(歳)	53	55	49	43	53	51	59	63	60	58	57
最年長(歳)	79	80	80	74	83	87	80	83	84	85	81
最年少(歳)	30	20	20	20	20	22	20	31	21	20	24
専門委員(人)	16	16	18	12	12	12	12	12	10	10	10
内訳	学識	4	4	6	6	6	6	6	4	4	4
	市町	12	12	12	6	6	6	6	6	6	6

※第5期は、地域ビジョンの点検・見直しのため、任期を1年延長

北播磨地域ビジョン2020 取組体系一覧表

取り組み方向	地域像	取組目標	アクション
<p>「交流と絆づくり」</p> <p>・まちむら交流や地域間交流を促進するとともに、人と人の絆、地域の絆を深める。</p>	<p>「1」交流が広がる</p> <p>○交流資源の価値の再評価、質の向上により、都市・地域間の交流人口が拡大し続け、地域は元気であふれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市住民が北播磨と都市を活発に行き来している ・北播磨への二地域居住、U I J ターンが定着している ・都市住民等の協力を得て地域活性化や課題解決が進展している ・北播磨の新たな地域資源が次々と創造されている ・情報発信により北播磨ファンが増加している ・北播磨地域内のグループ間交流が活発化しネットワークが充実している ・公共交通や交流施設がいつまでも守られている 	<p>(1) 都市との交流の拡大</p> <p>①都市との多彩な交流を展開する ②北播磨独自の価値や魅力を創造する ③地域の魅力を発信する ④若者・団塊世代の都市からのU I J ターンを促進する</p> <p>(2) 公共交通の利用促進</p> <p>①公共交通を利用しやすい環境を整備する ②公共交通を活用した地域活性化を図る ③公共交通を守ることへの住民の理解を深める</p>
	<p>「2」生活（くらし）の絆が深まる</p> <p>○「家族」「地域」「生活（くらし）」の絆が深まり、だれもが安全・安心に満ちた生活を過ごしている。</p> <p>○専門知識・技術を有する人材のネットワーク化が図れ、北播磨の未来を担う人づくりが推進されている。</p> <p>○一人暮らし高齢者・子どもへの地域の声かけ、見守りが行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体がネットワークで結ばれ活発に連携・情報交換が図られている ・地域づくりのノウハウが伝承され多様な世代の参画により人材が豊富になっている ・地域住民の三世代交流をにより知恵や技術の伝承、地域での助け合いが当然になっている。 ・高齢者の生活を地域ぐるみで支援する体制が整備され高齢者が安全安心に暮らしている。 ・団塊世代が地域に戻り、地域や様々な分野で活躍している。 ・子どもを地域の宝として見守ることで若者が地域に戻り安心して子育てしている。 ・子どもたちが高齢者との交流や地域活動への参画することで地域愛や豊かな心が育てられている ・医療ニーズに十分応え、高度で充実した医療が提供されている ・要介護者と介護者を支えるサービスが充実している ・地域の危機管理能力が年々向上している ・防災や災害時の相互支援、災害弱者の確認に地域の絆が活かされている ・犯罪のない安全安心な地域であり続けている ・交通事故防止対策が適切に講じられ安心して地域を移動できている ・他人を思いやる大きな輪が拡大している 	<p>(3) 助け合い・支え合い地域システムの構築</p> <p>①人材ネットワークを構築する ②技術を有する人材を発掘するとともに活動人材を育成する ③地域のつながりを再生する ④地域団体の活動を支援する ⑤地域住民の地域活動への参画を促進する</p> <p>(4) 地域で高齢者見守り</p> <p>①高齢者を地域ぐるみで応援する ②ひとり暮らしや身体機能が低下した高齢者の見守りシステムを整備する ③高齢者の生きがい、充実感、楽しみを創造する ④高齢者向け情報を発信する</p> <p>(5) 地域で子育て、未来を担う人づくり</p> <p>①子育てを地域ぐるみで応援する ②子どもへの教育を充実する ③子育て情報を発信する</p> <p>(6) 地域医療、防災、防犯の取組強化</p> <p>①地域医療を守る ②地域の防災力を強化する ③安心して暮らせる防犯力を強化する</p> <p>(7) 命の教育、健康づくりの推進</p> <p>①「命の教育」の講演と心肺蘇生法やA E Dの実技講習会を普及する ②健康で生き生きとした生活を確保する</p>
<p>「県民総参加の北播磨づくり」</p> <p>・誰もが北播磨づくりに参画する。</p>	<p>「3」文化が花開く</p> <p>○伝統文化や地域の歴史が子どもたちに継承され、郷土愛に満ちた地域で音楽・芸術家と支援グループが活躍し、みんなが文化的で質の高い生活を過ごしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化、祭り、文化財、歴史がいつまでも伝承されている ・幼いときから地域の伝統文化や歴史に触れ親しみ、地域が郷土愛で満ちている ・北播磨固有の祭りが継続的に行われ、都市住民も参加するなど楽しさが拡大している ・地域の若者が空き施設等を活用し音楽や演劇活動、美術の創作を行うなど質の高い豊かな生活を過ごしている ・地域の音楽・芸術系学校出身者等による入門音楽会や参加型芸術祭など、地域住民に芸術文化の楽しさが拡大している 	<p>(8) 伝統文化の継承</p> <p>①伝統文化を受け継ぐ ②伝統文化を発信する ③伝統文化を活用したイベントで活性化</p> <p>(9) 地域の音楽・芸術家と活動支援グループの活性化</p> <p>①芸術・文化活動を支援する ②芸術・文化活動を発信する ③芸術・文化を活用したイベントで活性化</p> <p>(10) 歴史の伝承</p> <p>①地域の歴史を受け継ぐ ②地域の歴史を発信する</p>
	<p>「4」恵み豊かな環境が持続する</p> <p>○環境意識が高まり、自然環境の保全や森づくりへの取組が継続的に行われ、豊かな自然・生態系の調和した暮らしが守られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境について知識を有し、保全に向けた積極的な活動が行われている ・鳥獣の適正な保護管理体制の確立により農産物や生態系への被害が抑えられ、生物多様性が確保されている ・森林の適正な管理が継続され、木材生産地の元気回復が図られている ・新エネルギーが積極的に活用されている ・ごみ適正処理への地域住民の意識改革が図られ、景観美化の取組により北播磨が美しさに溢れている ・バイオマスエネルギーの利活用が進んでいる 	<p>(11) ため池、水田、森の生物が元気に暮らす環境を維持する</p> <p>①貴重な自然環境を保全し、生物多様性を確保する ②環境や自然を守る環境教育を推進する</p> <p>(12) 生き生きとした北播磨の森づくり</p> <p>①森林の適正な管理を推進する ②森林の管理手法を伝承する ③森林の持つ多面的機能について理解を促進する</p> <p>(13) 環境に負荷をかけない新エネルギーの活用</p> <p>①新エネルギーづくりに取り組む</p> <p>(14) ゼロエミッションの推進</p> <p>①バイオマス利活用を推進する ②ごみの適正処理を推進する ③景観を保全する</p>
	<p>「5」元気な産業が興る</p> <p>○地場産業が元気を取り戻し、新産業が創造され希望に満ちた若者が働いている</p> <p>○食料供給基地としての機能を果たし、地産地消が浸透して元気な農家による食の企業化が推進されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品のPRや魅力ある商品の創造によりブランド知名度が上昇し競争力が強化されている ・ものづくり文化が若者に伝承され、若者のアイデアで地場産業に元気が回復している ・地域特性を活かした就業の場が地域活動の中から生まれ、若者が定着して生きがいをもち仕事をしている ・各店舗の意識改革・創意工夫や若手企業家の参入、商店街を活用した絆づくり等の取組で商店街が再生している ・農への若者の参画によりブランド化や経営形態の強化、農の6次産業化が図られている ・新鮮な地元産農産物を活用して郷土料理を楽しむなど健康的な食習慣が広がっている ・農産加工グループが商品の開発・販売に取り組み、やりがいが創出され地域が活性化している 	<p>(15) 地場産業の活性化、地場産品の高付加価値化</p> <p>①地場産業の競争力を強化する ②地場産業を受け継ぐ ③地場産業を発信する</p> <p>(16) 新たな「しごと・働く場」づくり</p> <p>①若い人が希望を持てる働く場をつくる ②商店街を再生、活性化を図る</p> <p>(17) 未来を拓く「農」づくり</p> <p>①元気な「農」をつくる</p> <p>(18) 健康を育む「食」の普及</p> <p>①地産地消・食育を推進する ②農産加工グループを育成する ③直売所等を連携させた周年供給産地を育成する</p>

■地域像「交流が広がる」

「まちむら交流」で活力を育む地域をめざす

1 取組目標

(1)都市との交流の拡大

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	魅力ある地域資源を活用したウォーキング・交流イベント						
実績	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1
	64名	71名	17名	51名	53名	18名	32名

〔県の取組例〕

取組事例	北播磨“ふるさと”情報の発信事業
内容と実績	ふるさと川柳コンテストの実施 / 応募者数 R1:2,959 点 残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテストの実施 / 作品数 R1:146 点 ふるさと北播磨の「宝もの」の発刊 / 発刊数 R1:3,200 部
取組事例	北播磨への移住促進事業
内容と実績	1 移住相談の実施 ① 定期相談窓口の開設 :開催場所カムバックひょうごセンター/開催回数 月1回(第2土曜日) ② 市町合同相談会の開催:開催場所 グランフロント大阪等 /開催回数 年2回(8月・1月頃) 2 イベント出展回数 1回(東京または大阪) 3 (新)移住・定住促進による地域の賑わいづくりセミナー開催 対象者:地域住民
取組事例	高校生等の地元企業理解促進事業
内容と実績	高校生等の地元企業への就職を促進するため、管内商工団体が実施する地元企業の見学会や、学校等での地元企業の製品の展示・説明会等の取り組みを支援 〔地元企業の見学会〕 訪問企業(H29:16企業、H30:14企業、R1:18企業) 参加人数(H29:183名、H30:155名、R1:223名) 〔地元企業による製品展示説明会〕 ※H30から商工団体への補助事業に切替え 参加企業(H28:24社、H29:48社、H30:70社、R1:23社(3回中2回コロナで中止)) 参加人数(H28:470名、H29:810名、H30:1,020名、R1:170名)(3回中2回コロナで中止)

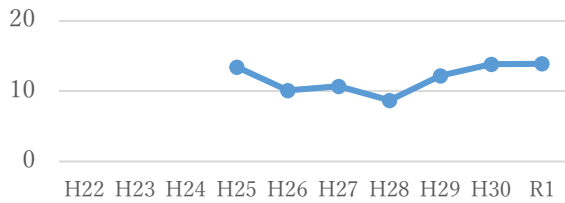
(2)公共交通の利用促進

〔県の取組例〕

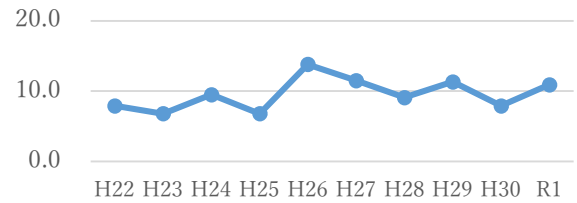
取組事例	持続可能な公共交通ネットワークの形成に資する地域の公共交通網形成計画の策定 パーク&ライド駅前駐車場の整備促進
内容と実績	ニーズに応じたコミュニティバスの運行や路線・ダイヤの見直し、 バリアフリー課の実施、デマンド型交通の運行、市場駅、小野町等で整備等
取組事例	JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道の利用促進事業
内容と実績	① イベント列車等鉄道利用促進イベント 鉄道を活用したイベント列車やハイキング等を年1～2回開催 参加者(H27:112名、H28:74名、H29:58名、H30:124名、R1:97名)(3回中1回コロナで中止) ② 鉄道施設見学会 JR加古川線・神戸電鉄の施設見学会を年1～2回開催 参加者(H27:232名、H28:192名、H29:183名、H30:220名、R1:224名)2回中1回コロナで中止 ③ 列車内鉄道絵画展 3線沿線の園児・児童を対象に鉄道の絵画を募集し、各線の列車に展示 応募数(H27:614点、H28:720点、H29:806点、H30:892点、R1:901点)

2 指標【兵庫のゆたかさ指標】

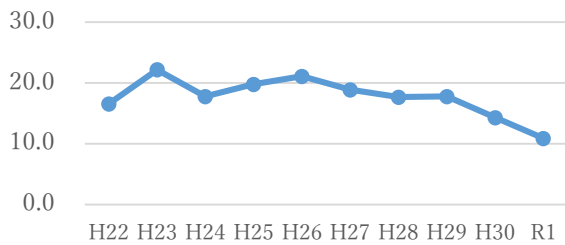
①都市と田舎など、地域間の交流が盛んに行われていると思う人の割合



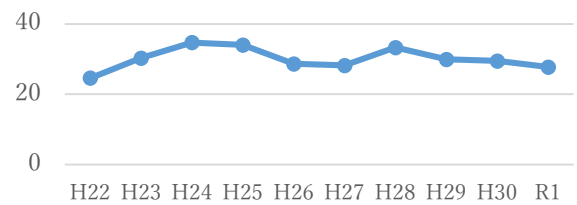
②住んでいる地域に、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合



③住んでいる市・町の公共交通は便利だと思う人の割合



④住んでいる市・町は、県内のどこへでも便利に移動できると思う人の割合



■地域像「生活(くらし)の絆が深まる」

家族・地域・生活の絆を深め絆の力で安全・安心を支える地域をめざします

1 取組目標

(3)助け合い・支え合い地域システムの構築

〔県の取組例〕

取組事例	自主防災組織リーダー研修
実績	毎年管内 2 箇所で開催 (R1:研修 8 回 201 人)
取組事例	北播磨地域づくり活動応援事業の実施
実績	R1 助成実績:29 件

(4)地域で高齢者見守り

〔県の取組例〕

取組事例	北播磨型認知症カフェ「絆カフェ」の設置 認知症の人と家族が安心して立ち寄れる場、認知症の人と家族が安心して過ごせる場、地域住民、専門職などの交流・社会参加の場、地域に開かれた出入り自由な場、地域で支えあう力を育む場
内容と実績	H27 年度以降～:北播磨型認知症カフェ「絆カフェ」立上助成毎年リーフレットによる普及啓発 [設置箇所数] H27:13か所 H28:10か所 H29:4か所 H30:3か所 H31 :4か所 合計34か所(立ち上げ助成対象)R2.3 末時点 46か所運営中
取組事例	4DAS 基礎研修会(心身機能維持向上のためのプログラム) 地域の高齢者を支える・見守る人材育成
内容と実績	H27 以降～現在 対象:病院・施設スタッフ、地域関係職種、地域住民等 参加者 H27:131名 H28:130名 H29:24名 H30:24名 H31:104名 合計413名
取組事例	4DAS モデル事業 看護・介護の人材育成、指導者育成、サービス提供体制充実
内容と実績	H29 以降 北播磨圏域 4DAS 普及推進モデル事業の実施 対象:病院、老人保険施設、サービス提供事業所等 対象施設 H29:2 箇所 H30:2 箇所 H31:2 箇所 R2:2 箇所 合計 8 箇所

(5)地域で子育て、未来を担う人づくり

〔県の取組例〕

取組事例	子育て応援ネットによる子育て家庭を応援する活動の展開
実績	研修会の開催年 1 回
取組事例	北播磨地区こども会連絡協議会への運営
実績	総会の開催年 1 回、北播磨地区子ども会議の開催年 1 回

(6) 地域医療、防災、防犯の取組強化

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	防災ワークショップ/防災日めくりカレンダーの作成
内容と実績	ワークショップ出展:H30 メッセ三木・R1 ふれあいフェスティバル in 北播磨 日めくりカレンダー配布先:H29 子ども教室や学童保育 86 箇所 に 130 冊 配布

〔県の取組例〕

取組事例	北はりま絆ネット運用ルール検討会の設置
内容と実績	H23.7 導入システム決定。H23.12 モデル運用開始。H24.10 本格運用開始。 参加施設 R2.3 時点:情報公開病院9、閲覧施設 101 本格運用開始時:情報公開病院4、閲覧施設 61
取組事例	ひょうご防災ネットの普及推進/加古川減災対策協議会等の開催
内容と実績	毎年広報紙等での普及啓発/協議会等の開催年 3 回
取組事例	ため池管理者講習会
実績	R1 年度から各市町1回以上実施
取組事例	山地防災・土砂災害対策計画の推進
内容と実績	計画に基づき緊急性の高い箇所での対策の重点実施山地災害危険地着手率 (H29 国調査要領の見直しによる再点検調査の結果箇所数を見直し) R1:着手率 43%(着手 334 箇所/危険地 777 箇所)

(7) 命の教育、健康づくりの推進

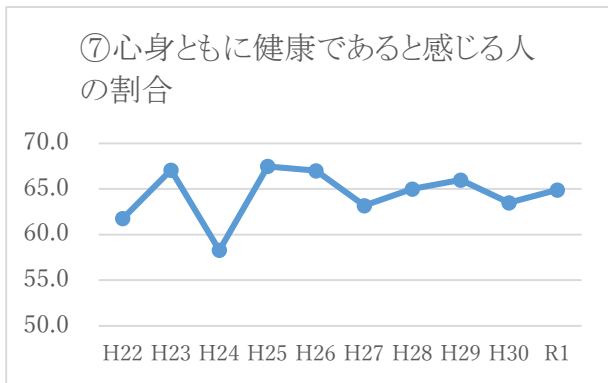
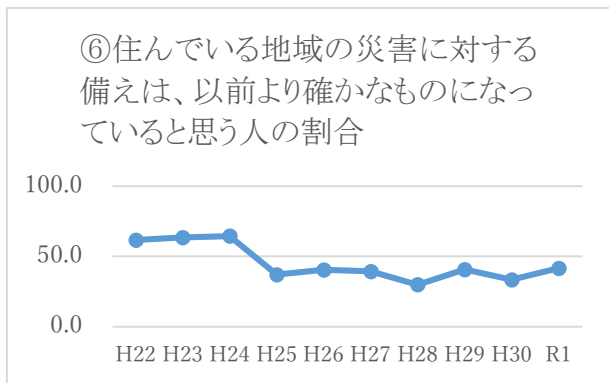
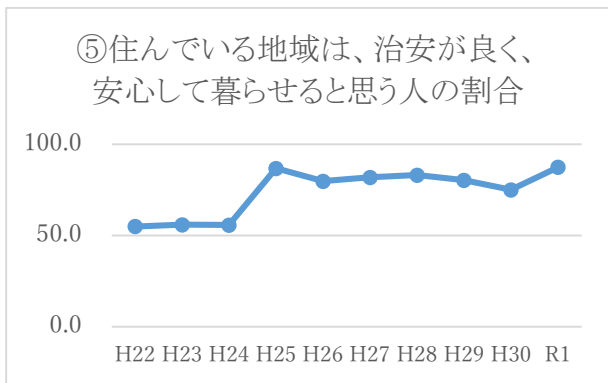
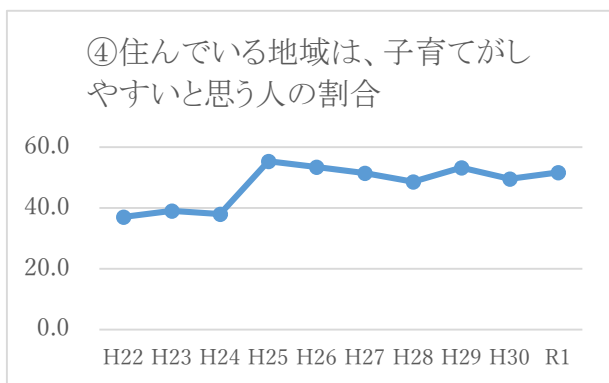
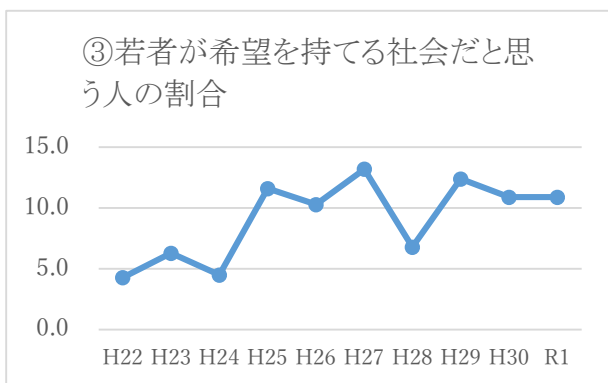
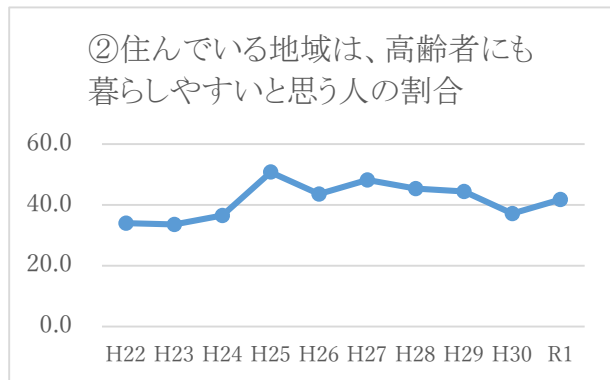
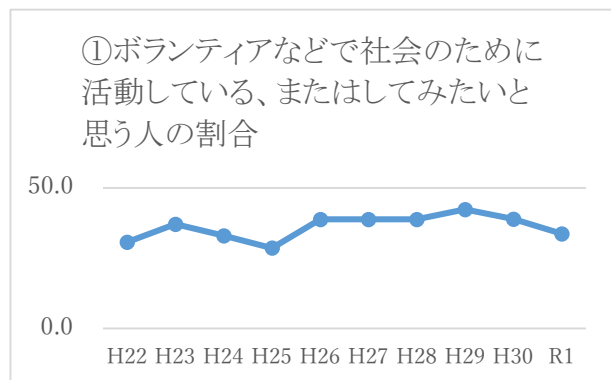
〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	命の教育講演会・心肺蘇生実技講習会
実績	H22 36 回(各小学校・中学校)講習 3,482 名 実技 2,230 名 H23 36 回(各小学校・中学校)講習 3,588 名 実技 2,393 名 H24 32 回(各小学校・中学校)講習 2,853 名 実技 2,062 名 H25 34 回(各小学校・中学校)講習 2,966 名 実技 2,195 名

〔県の取組例〕

取組事例	健康ひょうご 21 大作戦の展開 ・健康ひょうご 21 県民運動の推進 ・健康づくりチャレンジ企業による従業員やその家族の健康づくり
内容と実績	健康ひょうご 21 県民運動北播磨会議による健康づくりの推進 総会及び研修会の開催、健康づくり推進員の設置及びフォローアップ研修会、推進員及び食の健康運動リーダーによる普及啓発、地域実践活動助成事業による参画団体への支援 健康づくりチャレンジ企業登録促進(R1 年度末現在) 参画団体 118 団体/健康づくり推進員 24 人/食の健康運動リーダー141 人/実践講座 6 回 683 人 健康づくりチャレンジ企業登録数 144 社

2 指標〔兵庫のゆたかさ指標〕



■地域像「文化が花開く」

芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざす

1 取組目標

(8)伝統文化の継承

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	北播磨音風景50選ツアーの実施
実績	R1.4（三木市、小野市）26名、R1.6（西脇市、多可町）46名 R1.11（加西市、加東市）49名
取組事例	酒蔵・醤油蔵を巡る 麴文化探求ツアーの実施
実績	H27（多可町足立醸造(株)、加東市神結酒造(株)）45名

〔県の取組例〕

取組事例	地域づくり伝統文化交流事業支援
内容	東播磨文化団体連合会への助成 東はりまみんよう大会 東はりま大茶会

(9)地域の音楽・芸術家と活動支援グループの活性化

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	現代美術講座の開催
内容と実績	北播磨在住の美術家で世界を舞台に活躍中の向井修二氏を講師に迎え、参加者が美術の世界への理解を深めた H29:53名
取組事例	東条川疏水視察会とふるさとのしらべミニコンサー
実績	H28（加東市鴨川ダム）

〔県の取組例〕

取組事例	ともしびの賞による文化功労者の顕彰
実績	R1 表彰者数:団体1、個人1

(10)歴史の伝承

〔ビジョン委員会の取組例〕

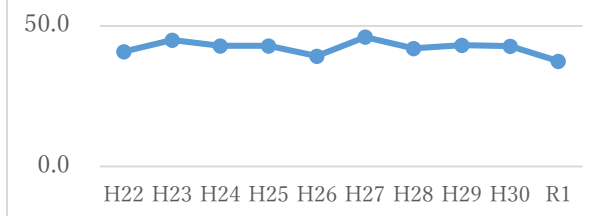
取組事例	湯の山街道と三木周辺の歴史探訪の実施
実績	H29（三木市）49名

〔県の取組例〕

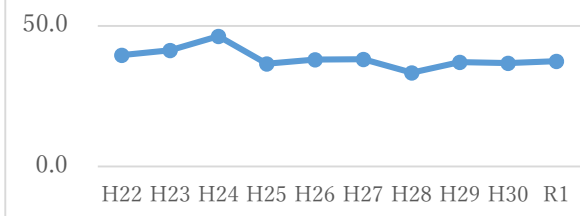
取組事例	東条川疏水ネットワーク博物館の推進
内容と実績	東条川疏水ネットワーク博物館の考え方の下に活動を展開し、当該疏水が地域の財産として地域の手で次世代に引き継がれていくことを目指す。 ① 今後の博物館推進の考え方検討会の開催 ② 疏水めぐり・疏水学習、関連イベント支援 ③ 聞き書きプロジェクトⅡ ～高校生伝承者育成講座～ ④ 東条川疏水シンポジウムの実施

2 指標【兵庫のゆたかさ指標】

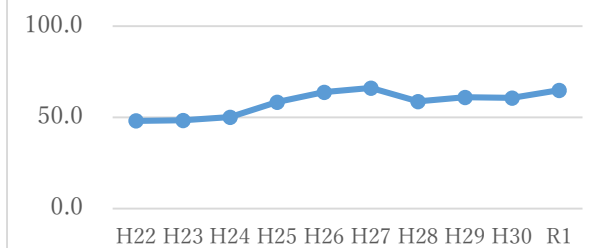
①お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合



②お住まいの市・町では、芸術文化に接する機会があると思う人の割合



③住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合



■地域像「恵み豊かな環境が持続する」

北播磨が持つ豊かな自然、生態系の調和した暮らしが持続する地域をめざす

1 取組目標

(11)ため池、水田、森の生物が元気に暮らす環境を維持する

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	加古川流域支流でのホタル生息地調査
実績	H27.2 フロイデン八千代
取組事例	「自然を食べよう！」摘み菜体験イベント
実績	R1.4 (嬉野台生涯教育センター) 参加者数22名、 R1.11 (同左) 参加者数34名、 R1.10 (三木市総合防災公園 ふれあいフェスティバルブース)

〔県の取組例〕

取組事例	生物多様性保全活動の推進支援事業補助金(H27～)
実績	H27 あびき湿原 獣害防護柵設置 H28 あびき湿原 獣害防護柵設置・間伐 H29 あびき湿原 バイオトイレ設置、西脇市上比延地区ため池湿地保全 H30 あびき湿原 獣害防護柵設置 H31 三木増田自然公園 獣害防護柵設置
取組事例	野生動物被害防止総合対策の推進
実績	シカ・イノシシの捕獲拡大 ○鳥獣農林業被害額(千円) H22:167,986 →H30:62,241 ○捕獲頭数(シカ) H23:1,276 →H28:2,352 →H30:1,794 ○捕獲頭数(イノシシ) H25:887 →H30:2,011

(12)生き生きとした北播磨の森づくり

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	森林セラピー体験会(宍粟市国見の森公園)
実績	H29.7 参加者数9名
取組事例	「ひょうごの森のまつり」でのブース展示
実績	H29.11 (多可町)

〔県の取組例〕

取組事例	災害に強い森づくりの推進
内容と実績	県民緑税を活用した森林の防災機能強化 ○緊急防災林整備(溪流対策)面積 R1:20ha、(斜面对策)面積 R1:332ha ○里山防災林整備面積 R1:45ha○野生動物共生林整備面積 R1:61ha
取組事例	県民総参加の森づくり
内容と実績	企業の森づくり、森林ボランティア活動の推進 ○企業の森づくり R元:11 企業12 協定 ○森林ボランティア活動支援事業活動地:三木山森林公園、多可町

(13)環境に負荷をかけない新エネルギーの活用

〔県の取組例〕

取組事例	ため池フロート式太陽光発電(H25～)							
実績	受給電力量 (kWh)	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		15,715	48,726	48,461	48,119	47,175	42,375	38,936

(14)ゼロエミッションの推進

〔ビジョン委員会の取組例〕

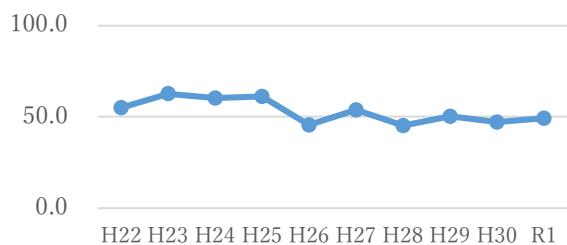
取組事例	環境保全植栽活動
実績	H22 18回 延べ157名、H23 19回 延べ116名

〔県の取組例〕

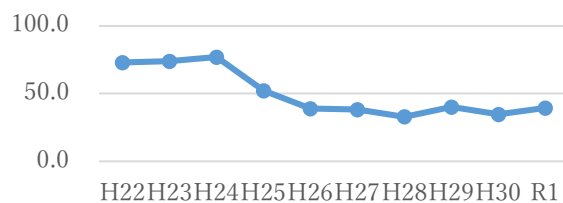
取組事例	生物多様性保全活動の推進支援事業補助金(H27～)
実績	H29 あびき湿原 バイオトイレ設置

2 指標 [兵庫のゆたかさ指標]

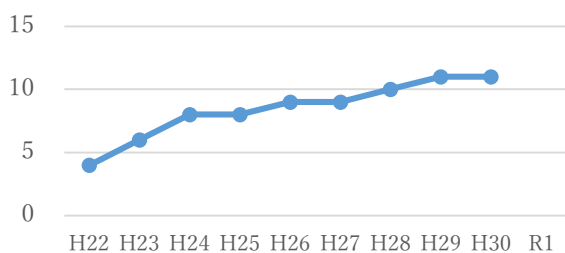
①お住まいの市・町の自然環境は守られていると思う人の割合



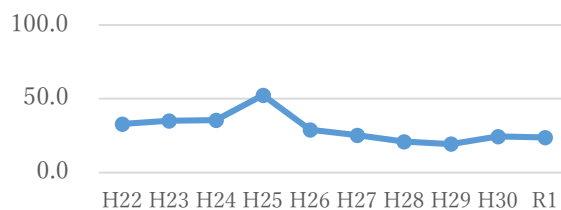
②お住まいの市・町では、自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会があると思う人の割合



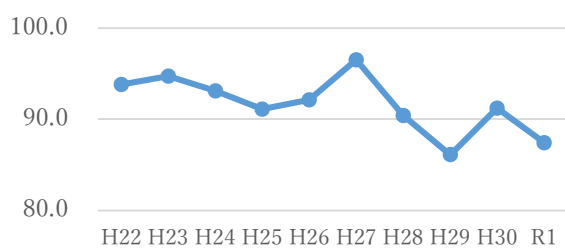
③(参考)「企業の森づくり」協定件数(累計)



④太陽光など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したいと思う人の割合



⑤「ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合



■地域像「元気な産業が興る」

多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざす

1 取組目標

(15)地場産業の活性化、地場産品の高付加価値化

〔県の取組例〕

取組事例	地場産業活性化支援事業
内容と実績	地場産業や地域ビジネスの販路拡大、イベント、PR 等の取組みを支援 H30:2 件(1,296 千円) H31:3 件(1,997 千円)

(16)新たな「しごと・働く場」づくり

〔県の取組例〕

取組事例	海外からの誘客事業(北播磨広域観光協議会)
内容と実績	H28:地域の意識高揚を図るため講演会を実施 H29:ファムトリップの受入、英語版シンプレット、ゴルフマナーDVDの作成、インバウンド推進会議の設立 H30:ゴルフツアー商品のための日本初の国際商談会(JGTC2018)への出展、 海外プロモーションの実施、ファムトリップの受入等 R1:インバウンド対応研修の実施、商談会への参加、ファムトリップの受入等
取組事例	域内企業投資情報収集強化事業
実績	毎年 15 社程度
取組事例	商店街支援事業
実績	補助件数・金額 H27:3 件(798 千円)、H28:3 件(600 千円)、H29:5 件(1,092 千円)、H30:5 件(1,570 千円)、R1:5 件(1,300 千円)

(17)未来を拓く「農」づくり

〔ビジョン委員会の取組例〕

取組事例	保田ぼかしによる健康野菜づくり勉強会の開催
実績	H28 7 回/年 開催 延べ 151 名 H29 9 回/年 開催 延べ 244 名 H30 8 回/年 開催 延べ 209 名 R1 8 回/年 開催 延べ 225 名
取組事例	人と環境にやさしい北播磨有機農業講座
実績	H27:75 名、H28:61 名、H30:87 名、H31:73 名

〔県の取組例〕

取組事例	農業施設貸与事業
内容と実績	新規就農者等の初期投資軽減を図るため、貸与施設・機械等の導入支援
取組事例	地域農業活性化支援事業
内容と実績	新規就農者等の担い手育成に必要な施設整備の支援(西脇市スイーツファクトリー)

(18)健康を育む「食」の普及

〔ビジョン委員会の取組例〕

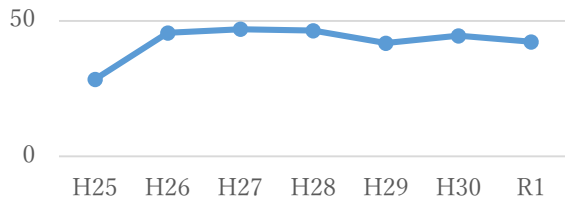
取組事例	北播磨「農」と「食」の祭典へブース出展
実績	H29/10/28～29(加西市フラワーセンター) H30/11/17～18(三木市ネスタリゾート神戸)
取組事例	有機野菜を使った調理実習会
実績	R1.1(加東市健康福祉センター)15名
取組事例	6次加工生産者応援「頑張る個人・グループ紹介MAP」作成
内容と実績	H26 生産加工者を訪問、意見交換、編纂

〔県の取組例〕

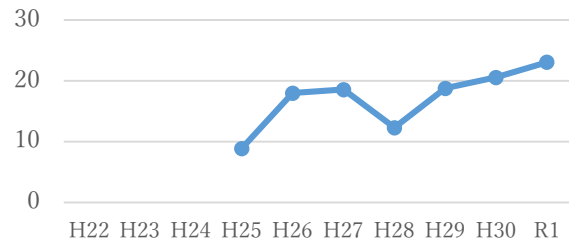
取組事例	攻めの農業の推進(山田錦、いちご、播州百日鶏、黒田庄和牛等)
内容と実績	地域ブランド農産物の生産拡大、販路拡大の支援(実証ほの設置、PR資材の作成、イベント出展、新商品開発等)
取組事例	北はりま“食の企業化”プロジェクト
内容と実績	農産加工グループが実践する地域の農産物を活用した加工品の開発や販売促進等の取組支援(講習会の開催、機械導入、商品ラベル、パンフレット作成等)

2 指標〔兵庫のゆたかさ指標〕

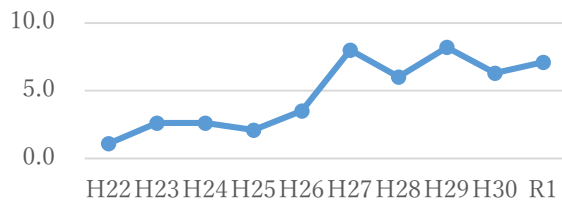
①お住まいの市・町には、優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合



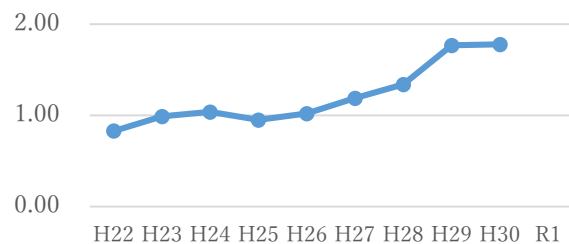
②お住まいの市・町の企業には活気が感じられると思う人の割合



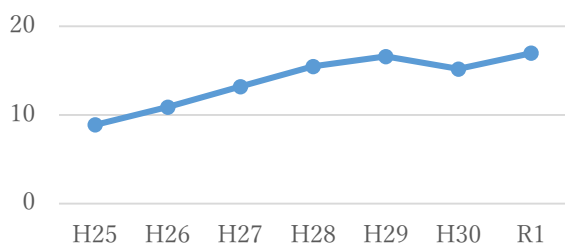
③自分にあつた職業への就職や転職がしやすい社会だと思う人の割合



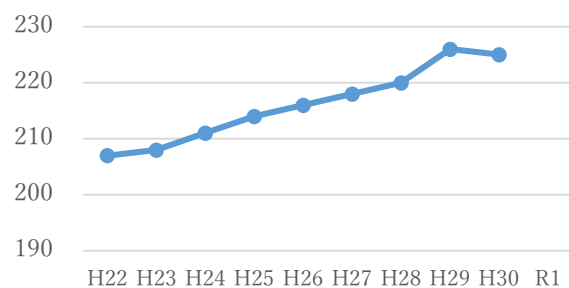
④(参考)有効求人倍率
(西脇公共職業安定所管内分)



⑤地元や県内の農林水産業に、活気が感じられると思う人の割合



⑥(参考)集落営農組織化集落数



北播磨地域関連データ

令和2年7月4日



目 次

1. 管内人口推移の状況	1
2. 年齢4区分別人口割合の状況	2
3. 自然増減・社会増減	3
(1) 自然増減（出生数と死亡数の推移）	3
(2) 社会増減（日本人の転入者数と転出者数の推移）	3
4. 出生率・合計特殊出生率	4
5. 管内外国人数の状況	5
(1) 外国人人口の推移	5
(2) 外国人の国籍別の推移	6
(3) 外国人労働者の状況	6
6. 観光客入込状況の推移	7
7. 鉄道利用者の推移	8
(1) J R加古川線	8
(2) 神戸電鉄粟生線	8
(3) 北条鉄道	8
8. 産業の状況	9
(1) GDP（名目）の推移	9
(2) 産業構造の状況	10
(3) 工場立地状況	11
(4) 管内製造業の状況（従業員4人以上の事業所）	11
(5) 管内製造業の状況（従業員4人以上の事業所）	12
(6) 有効求人倍率(原数値)の状況	12
9. 農業の状況	13
(1) 農業産出額の推移	13
(2) 農業就業人口および新規就農者の推移	13
(3) 耕作放棄地の状況	14
10. 交通安全の状況	15
11. 兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）の状況	15

1. 管内人口推移の状況

北播磨地域の人口は、2000(H12)年の298,390人をピークに減少傾向にある。また、兵庫県将来推計人口によると2020年以降減少割合のペースは加速し、2060(R42)年には、1920(T9)年を下回り、2065(R47)年には、ピーク時の半数になると推測されている。

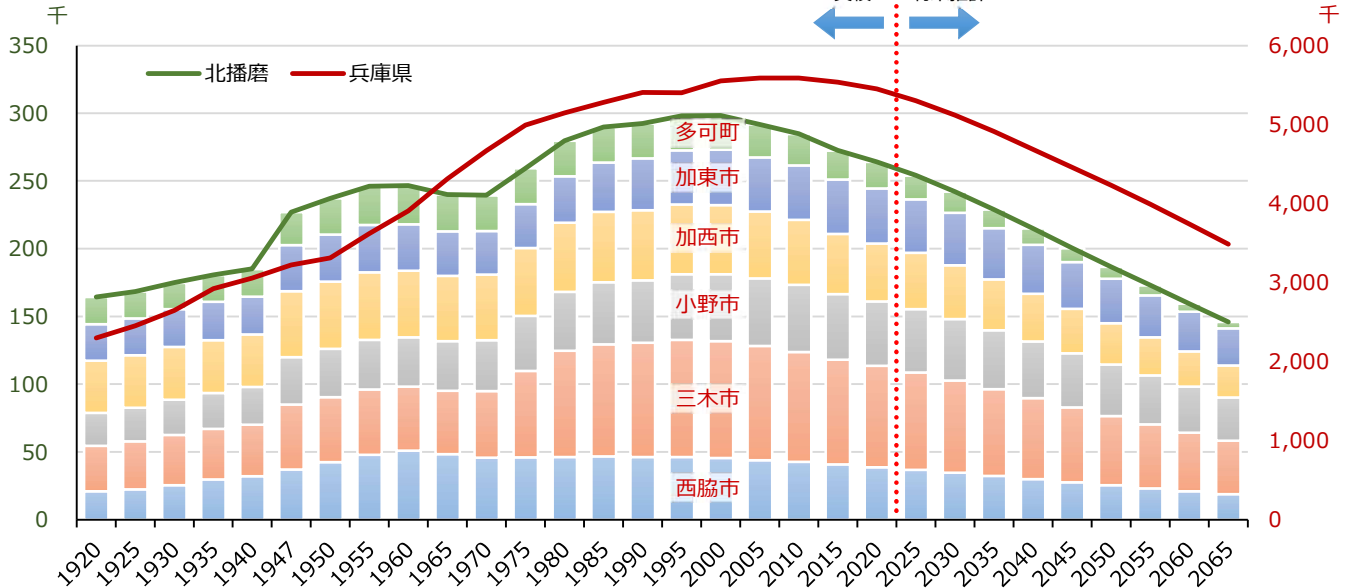
管内人口の推移

(単位:人)

市町名	1990(H2) 10.1	1995(H7) 10.1	2000(H12) 10.1	2005(H17) 10.1	2010(H22) 10.1	2015(H27) 10.1	2020(R2) 5.1	推計人口 2065(R47)
西脇市	46,220	46,339	45,718	43,953	42,802	40,866	38,776	18,948
三木市	84,445	86,562	86,117	84,361	81,009	77,178	74,811	39,448
小野市	46,007	48,214	49,432	49,761	49,680	48,580	47,581	31,888
加西市	51,784	51,706	51,104	49,396	47,993	44,313	42,794	23,692
加東市	38,270	39,743	40,688	39,970	40,181	40,310	40,594	27,293
多可町	25,745	25,440	25,331	24,304	23,104	21,200	19,540	4,855
北播磨(A)	292,471	298,004	298,390	291,745	284,769	272,447	264,096	146,124
A/B	5.4%	5.5%	5.4%	5.2%	5.1%	4.9%	4.8%	4.2%
全県(B)	5,405,040	5,401,877	5,550,574	5,590,601	5,588,133	5,534,800	5,450,393	3,485,704

※ 1990～2015年は、国勢調査、2020年は、兵庫県推計人口【統計課】、
 ※ 2065年は、兵庫県将来推計人口（2015～65年）【ビジョン課】

管内人口の推移



管内人口の増減(2000→2030)

(単位:人)

市町名	2000(H12)	2030(R12)	比
西脇市	45,718	34,713	▲24.1%
三木市	86,117	68,089	▲20.9%
小野市	49,432	45,237	▲8.5%
加西市	51,104	39,712	▲22.3%
加東市	40,688	38,764	▲4.7%
多可町	25,331	15,576	▲38.5%
北播磨	298,390	242,091	▲18.9%

※H12は、国勢調査

※R12は、兵庫県将来推計人口【ビジョン課】

- 0%以上の増加
- ▲10～▲0%未満の減少
- ▲20～▲10%未満の減少
- ▲30～▲20%未満の減少
- ▲30%以上の減少

2. 年齢4区分別人口割合の状況

年齢区分別（15歳未満:年少人口、15～64歳:生産年齢人口、65～74歳:前期高齢者人口、75歳以上:後期高齢者人口）で比較すると、北播磨の年少人口、生産年齢人口の占める割合は減少し続ける一方で、高齢者人口は、2065年には43.1%を占めると推測されている。

年齢区分別管内人口の推移

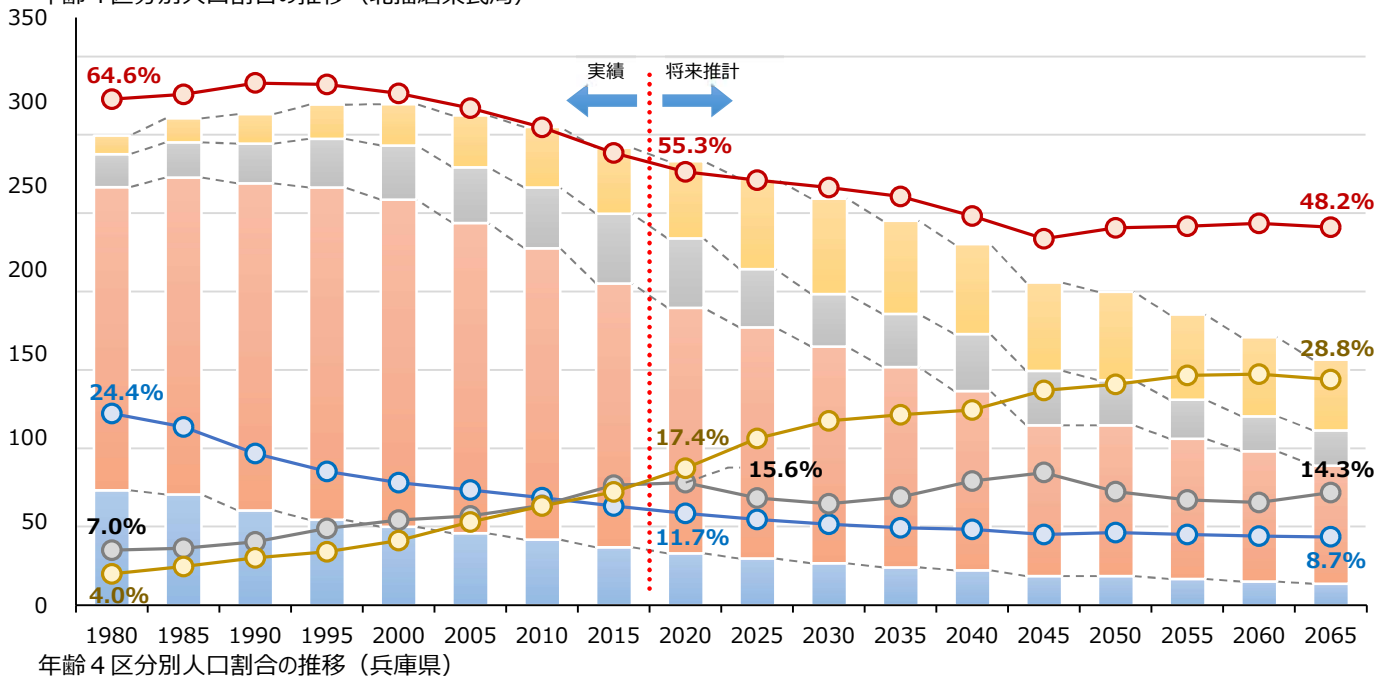
(単位:人)

区分	1990(H2) 10.1	1995(H7) 10.1	2000(H12) 10.1	2005(H17) 10.1	2010(H22) 10.1	2015(H27) 10.1	2020(R2) 5.1	推計人口 2065(R47)
年少	56,450	50,747	46,580	42,731	38,998	34,434	30,859	12,699
生産年齢	194,795	197,926	194,832	184,849	173,572	157,141	146,187	70,440
前期高齢	23,538	29,055	32,362	33,114	36,127	41,600	41,298	20,953
後期高齢	17,566	20,274	24,568	30,879	35,970	39,272	46,095	42,032
北播磨	292,349	298,002	298,342	291,573	284,667	272,447	264,439	146,124

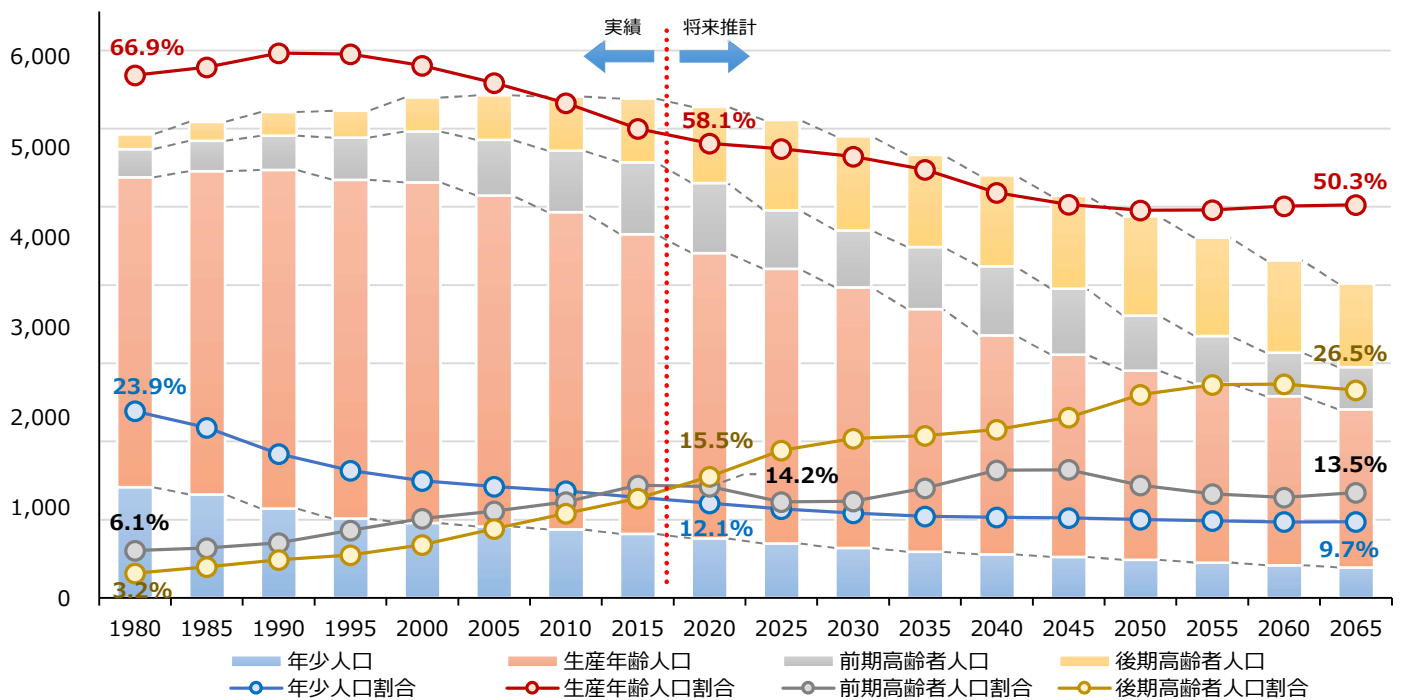
※ 1990～2015年は、国勢調査、2020、2065年は、兵庫県将来推計人口（2015～65年）【ビジョン課】

※ 年齢不詳を除いているため、北播磨県民局計は、表「管内人口の推移」と合致しない

年齢4区分別人口割合の推移（北播磨県民局）



年齢4区分別人口割合の推移（兵庫県）

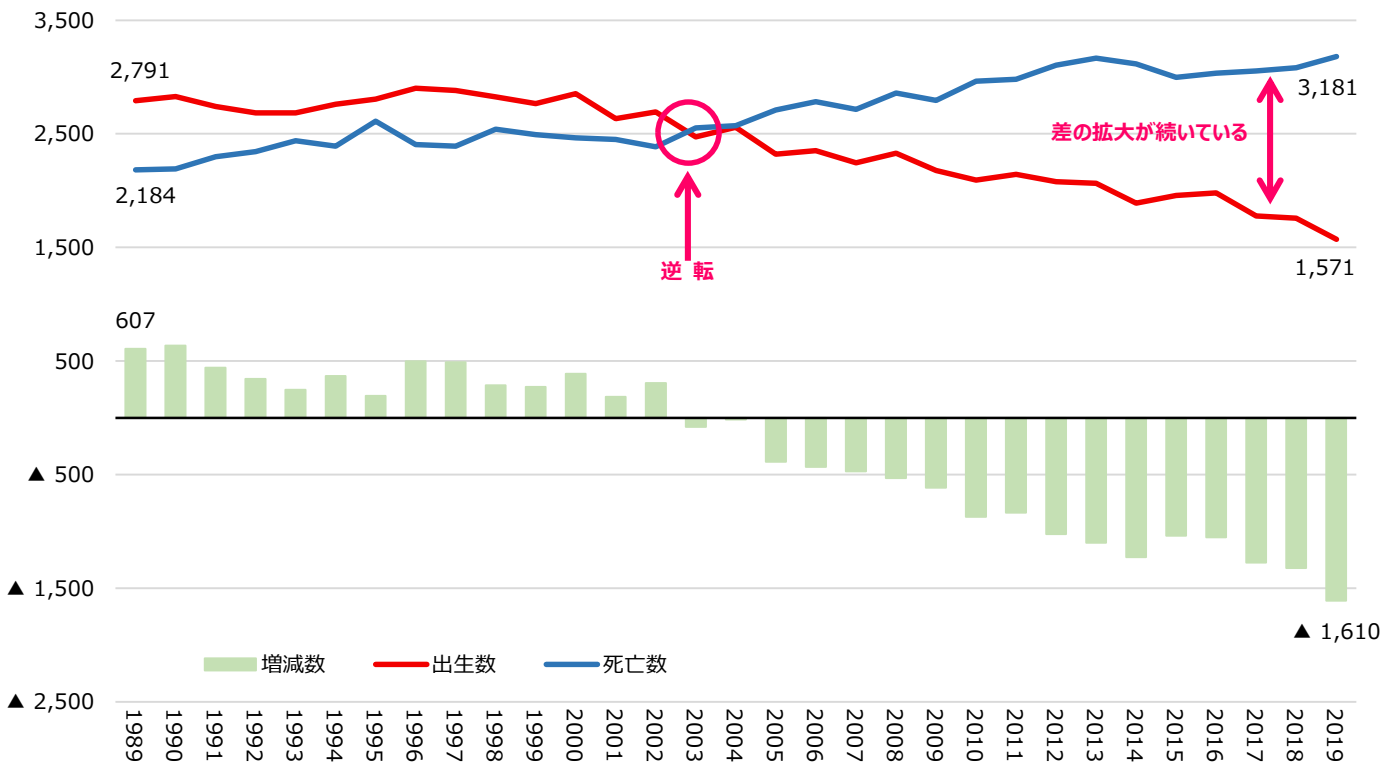


※ 2015年以前は、「国勢調査」、2020年以降は兵庫県将来推計人口

3. 自然増減・社会増減

(1) 自然増減（出生数と死亡数の推移）

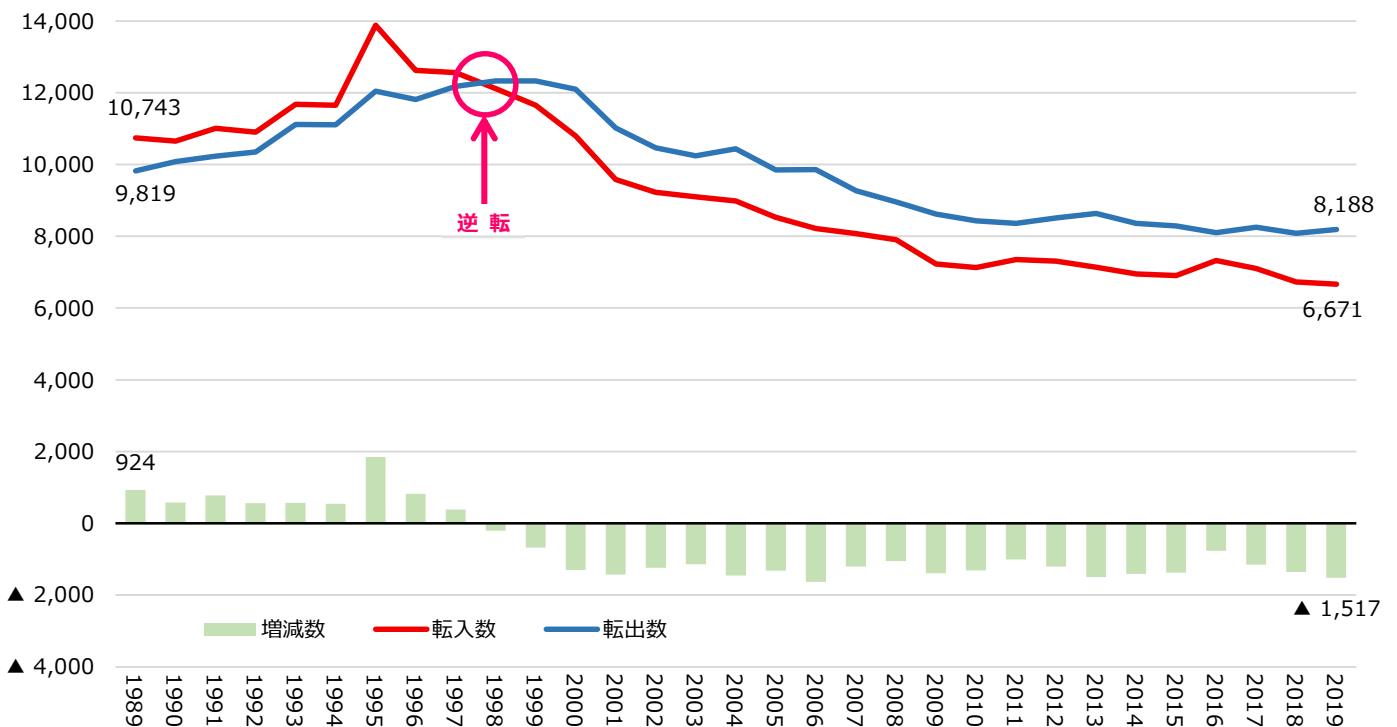
北播磨の出生数は、2,800 人/年で推移してきたが、1996(H8)年以降減少に転じ、2003(H15)年には死亡数が出生数を上回って以降、その差は拡大傾向にある。



※兵庫県推計人口

(2) 社会増減（日本人の転入者数と転出者数の推移）

北播磨の転入数は、10,000 人/年で推移してきたが、1995(H7)年以降減少に転じ、1998(H10)年には転出数が転入数を上回っており、毎年 1,000 人以上の転出超過が続いている。

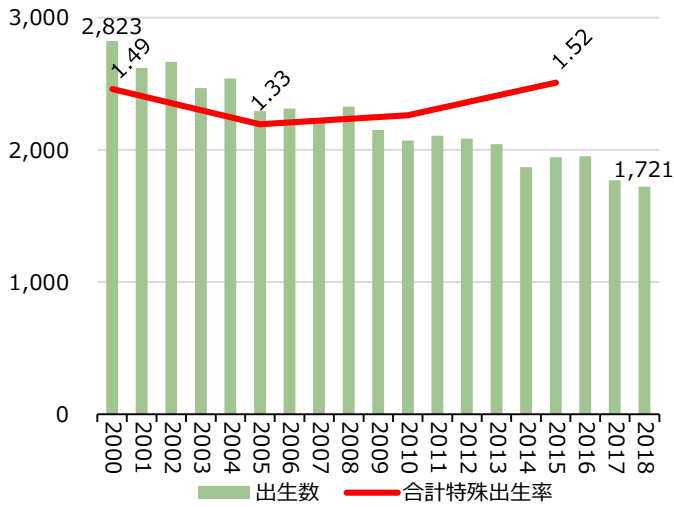


※兵庫県推計人口

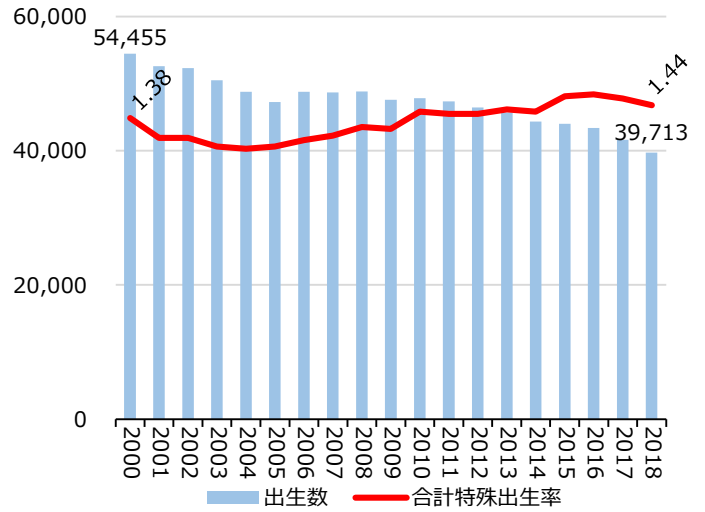
4. 出生率・合計特殊出生率

北播磨の合計特殊出生率は、2005(H17)年の 1.33 を底に回復傾向にある。また出生数は、多少の増減はあるものの減少傾向にある。

出生数と合計特殊出生率の推移（北播磨）

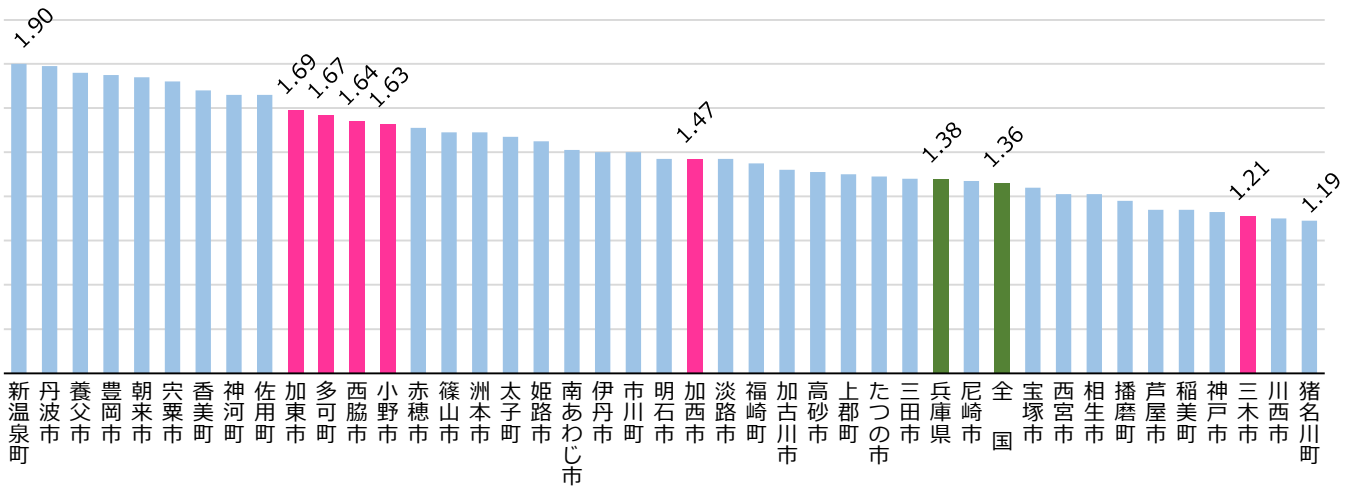


出生数と合計特殊出生率の推移（県）

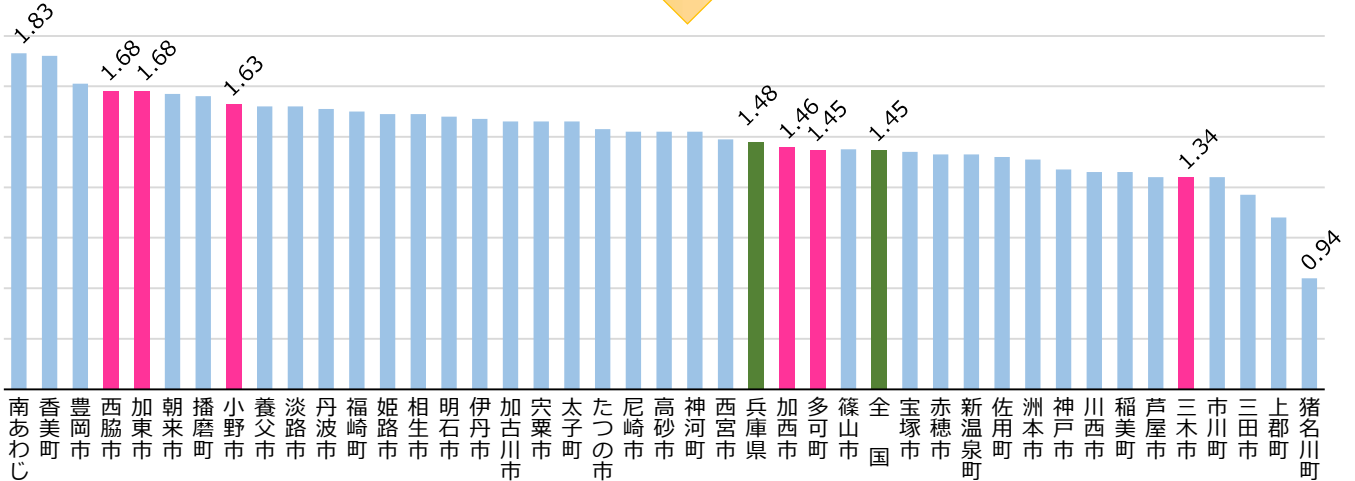


※県の出生数は人口動態調査、出生率は、厚生労働省「人口動態統計」
 ※北播磨の出生数・出生率は、保健統計年報

市町別合計特殊出生率(2000年(H12))



市町別合計特殊出生率(2015年(H27))



※ 平成 30 年保健統計年報

5. 管内外国人数の状況

(1) 外国人人口の推移

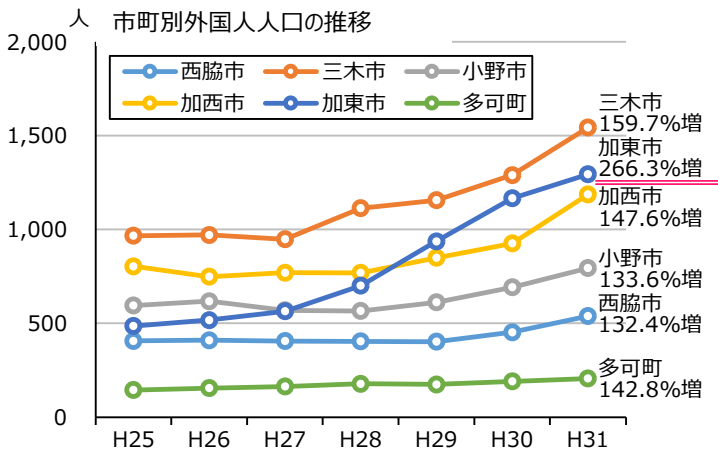
住民基本台帳に基づく管内の外国人人口は、2013 (H25)年と比較すると約 1.6 倍に増加している。また加東市にあっては約 2.7 倍に増加している。人口に占める外国人の割合を圏域別に見ると、北播磨地域は 2 番目に高い。

外国人人口の推移

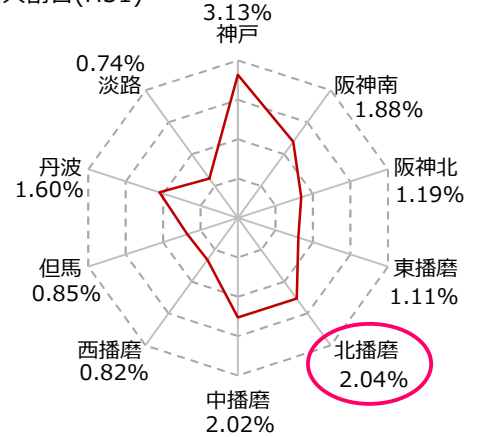
(単位:人)

市町名	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31(R1) (2019)
西脇市	407	410	406	404	403	453	539
三木市	967	971	949	1,113	1,156	1,290	1,544
小野市	595	618	569	567	612	692	795
加西市	804	748	770	769	849	926	1,187
加東市	486	517	564	701	937	1,166	1,294
多可町	145	155	164	178	175	191	207
北播磨	3,404	3,419	3,422	3,732	4,132	4,718	5,566
全 県	95,478	94,983	95,167	97,044	100,080	104,056	108,302

※「住民基本台帳に基づく人口」【総務省】



圏域別外国人割合(H31)

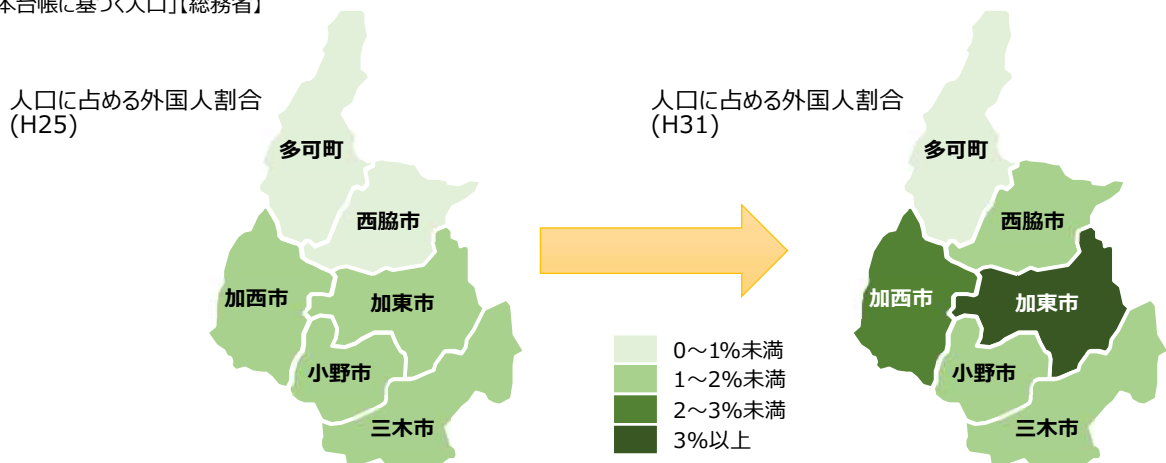


市町における外国人の占める割合

(単位:人)

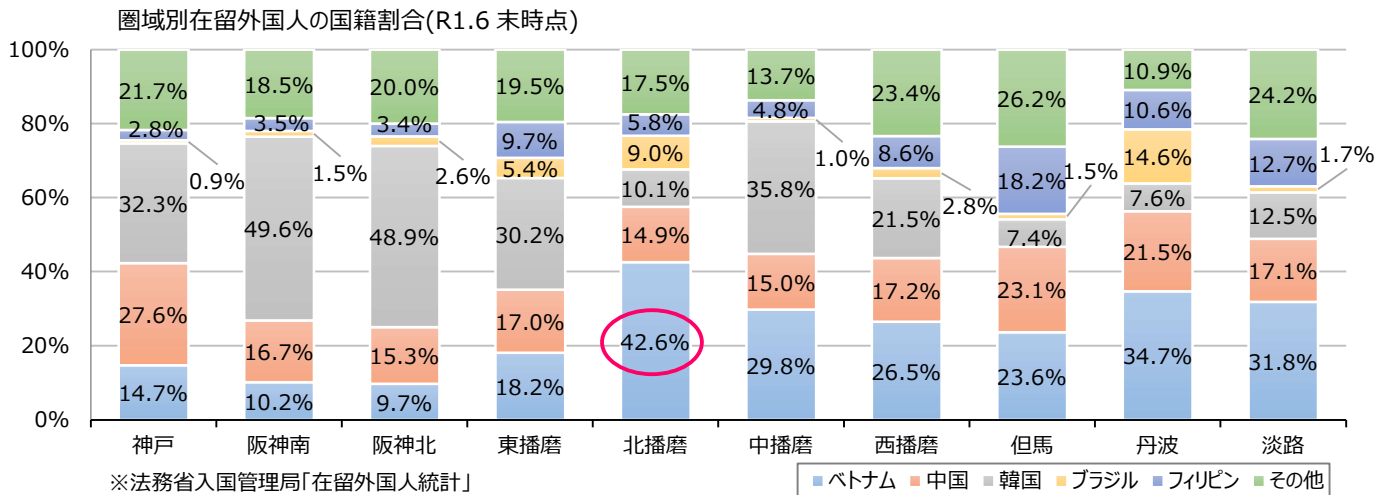
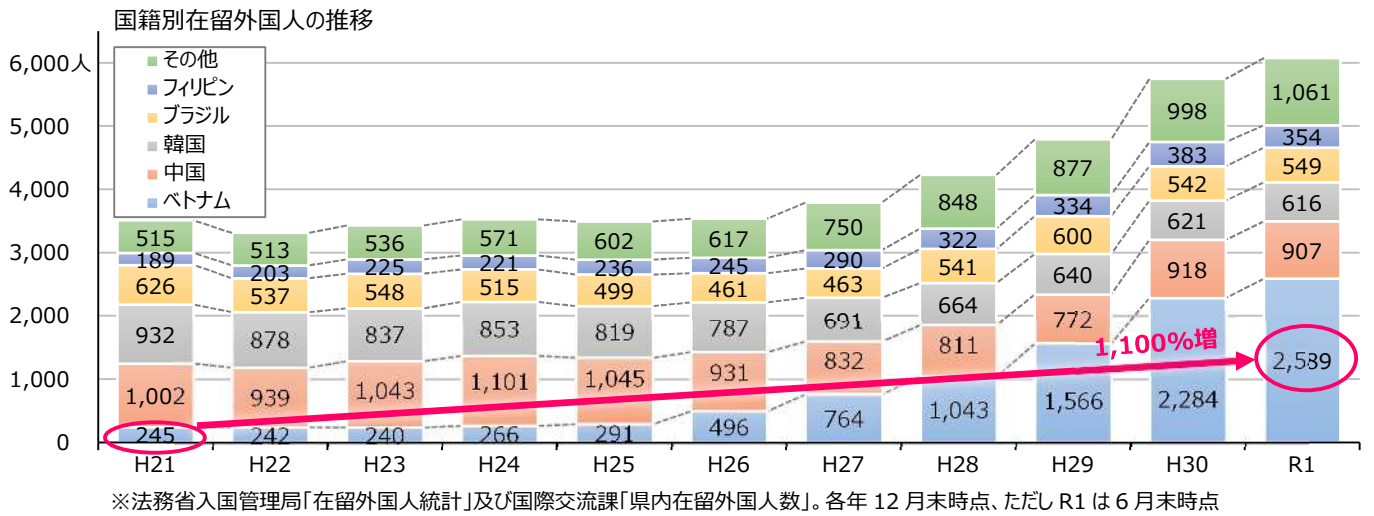
市町名	人口 (H25)			人口 (H31)		
	人口	うち外国人	外国人割合	人口	うち外国人	外国人割合
西脇市	43,253	407	0.94%	40,867	539	1.32%
三木市	80,999	967	1.19%	77,873	1,544	1.98%
小野市	50,231	595	1.18%	48,742	795	1.63%
加西市	46,734	804	1.72%	44,494	1,187	2.67%
加東市	39,922	486	1.22%	40,187	1,294	3.22%
多可町	22,952	145	0.63%	20,885	207	0.99%
北播磨	284,091	3,404	1.69%	273,048	5,566	2.04%
全 県	5,660,302	95,478	1.69%	5,570,618	108,302	1.94%

※「住民基本台帳に基づく人口」【総務省】



(2) 外国人の国籍別の推移

法務省入国管理局「在留外国人統計」によると、管内在留外国人のうち、ベトナム国籍者は2009(H21)年と比較すると約11倍に増加している。また他の圏域に比べて、ベトナム人の割合が高い。



(3) 外国人労働者の状況

管内の外国人労働者はこの10年で約3.4倍に増加している。また西脇公共職業安定所管内における外国人労働者の71.3%が製造業で、在留資格別では、52.5%を技能実習が占めている。

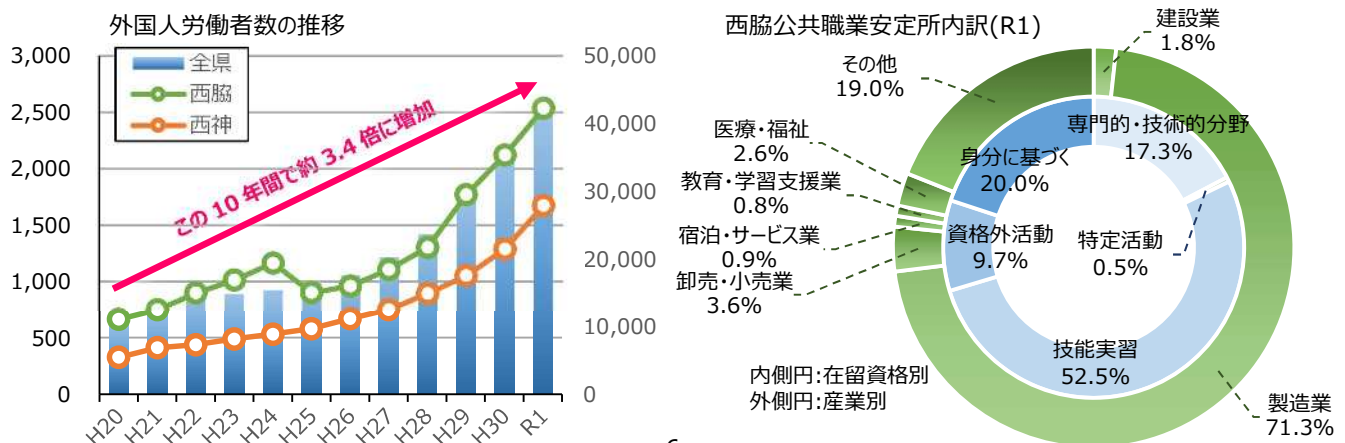
外国人雇用状況の推移

(単位:人)

管轄地	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
西脇	749	898	1,013	1,164	901	960	1,107	1,303	1,770	2,121	2,536
西神	411	438	489	532	579	669	750	895	1,051	1,288	1,674
全県	12,985	15,082	14,855	15,431	16,610	17,614	20,303	23,683	29,621	34,516	41,083

※外国人雇用状況の届出状況【兵庫労働局】(各年10月末時点)

※西脇公共職業安定所(西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町)、西神公共職業安定所(三木)



6. 観光客入込状況の推移

2018(H30)年度は、前年と比較して11万7千人の増加となった。また2010(H22)年度と比較してもほぼ横ばいで推移している。宿泊客は増加傾向にあるが神戸阪神地域に近接していることや高速道路網の整備により、日帰り観光客が96.2%(1,353万人)を占めている。

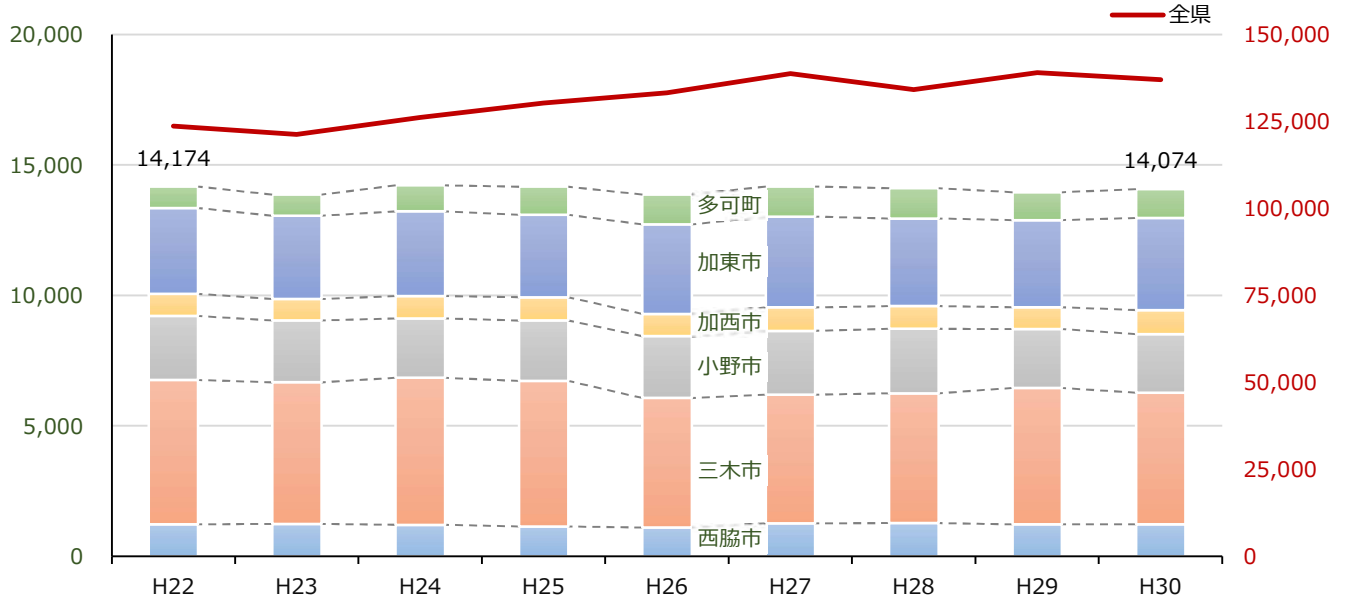
観光客入込数の推移

(単位:千人)

市町名	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H22比
西脇市	1,146	1,164	1,133	1,071	1,031	1,175	1,177	1,142	1,142	▲0.3%
	82	84	79	77	75	95	100	88	88	7.3%
三木市	1,228	1,248	1,212	1,148	1,106	1,270	1,277	1,230	1,230	0.2%
	5,444	5,332	5,549	5,488	4,875	4,841	4,900	5,067	4,904	▲9.9%
小野市	89	93	86	88	91	87	75	160	140	56.2%
	5,533	5,425	5,635	5,576	4,966	4,928	4,975	5,227	5,044	▲8.8%
加西市	2,446	2,363	2,266	2,307	2,323	2,353	2,397	2,183	2,175	▲11.1%
	7	7	9	9	44	95	74	73	74	957.1%
加東市	2,453	2,370	2,275	2,316	2,367	2,448	2,471	2,256	2,249	▲8.3%
	817	785	823	859	819	862	836	812	886	8.6%
多可町	36	36	35	35	35	35	35	25	35	▲5.4%
	853	821	858	894	854	897	871	837	921	8.0%
北播磨	3,060	2,978	3,043	2,957	3,215	3,323	3,149	3,145	3,337	9.1%
	225	214	201	200	216	157	208	194	192	▲14.7%
全 県	3,285	3,192	3,244	3,157	3,431	3,480	3,357	3,339	3,529	7.4%
	774	764	950	1,031	1,098	1,112	1,118	1,030	1,088	40.6%
北播磨	48	46	47	47	46	41	41	38	13	▲72.9%
	822	810	997	1,078	1,144	1,153	1,159	1,068	1,101	33.9%
北播磨	13,687	13,386	13,764	13,713	13,361	13,666	13,577	13,379	13,533	▲1.3%
	487	480	457	456	507	5,110	533	579	541	11.1%
全 県	14,174	13,866	14,221	14,169	13,868	14,176	14,110	13,957	14,074	▲0.9%
	110,716	107,920	113,234	116,789	121,119	125,379	121,505	126,245	124,814	12.7%
全 県	12,966	13,345	12,877	13,483	12,137	13,376	12,662	12,082	12,192	▲6.0%
	123,682	121,265	126,111	130,272	133,256	138,755	134,167	139,047	137,006	10.7%

※兵庫県観光客動態調査報告書、H30は速報値

観光客入込数の推移



7. 鉄道利用者の推移

(1) JR加古川線

平成16年12月に全線が電化され、平成28年3月には、加古川駅 - 西脇市駅間でICOCAが使用可能になった。

輸送人員数

(単位:千人)

	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
加古川線	2,143	2,159	2,225	2,189	2,250	2,261	2,252	2,241	2,261
対前年比		100.7%	103.1%	98.4%	102.8%	100.5%	99.6%	99.5%	100.9%
一日平均(人)	5,871	5,914	6,099	5,998	6,164	6,194	6,169	6,139	6,178

※JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会総会資料

(2) 神戸電鉄粟生線

小野市では、榎山駅と小野工業団地と小野流通等業務団地を結ぶコミュニティバスの路線を平成29年9月に開設、ロータリーの改修も行い利便性を向上させ乗降客数を大幅に増やしている。

三木市も令和2年3月から、社会実験として2年間、昼間時間帯の志染駅～三木駅間で上下各4便増便に取り組んでいる。

実利用者数

(単位:千人)

	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
粟生線	9,019	8,774	8,706	8,456	8,419	8,320	8,154	7,941	7,842
対前年比		97.3%	99.2%	97.1%	99.6%	98.8%	98.0%	97.4%	98.8%

※JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会総会資料

(3) 北条鉄道

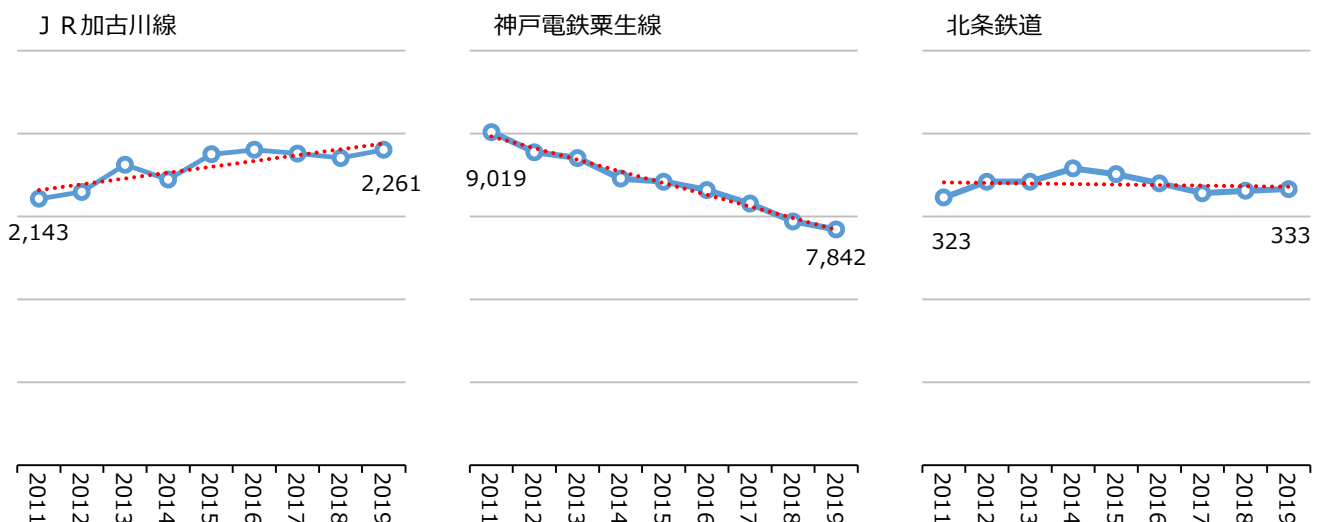
法華口駅では鷺野飛行場間を結ぶシャトルバスの運行開始や列車行違い設備工事が進むなど利用者増の向上が図られている。

輸送人員数

(単位:千人)

	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
北条鉄道線	323	342	342	358	351	340	328	331	333
対前年比		105.9%	100.0%	104.7%	98.0%	96.9%	96.5%	100.9%	100.6%

※JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会総会資料



8. 産業の状況

(1) GDP (名目) の推移

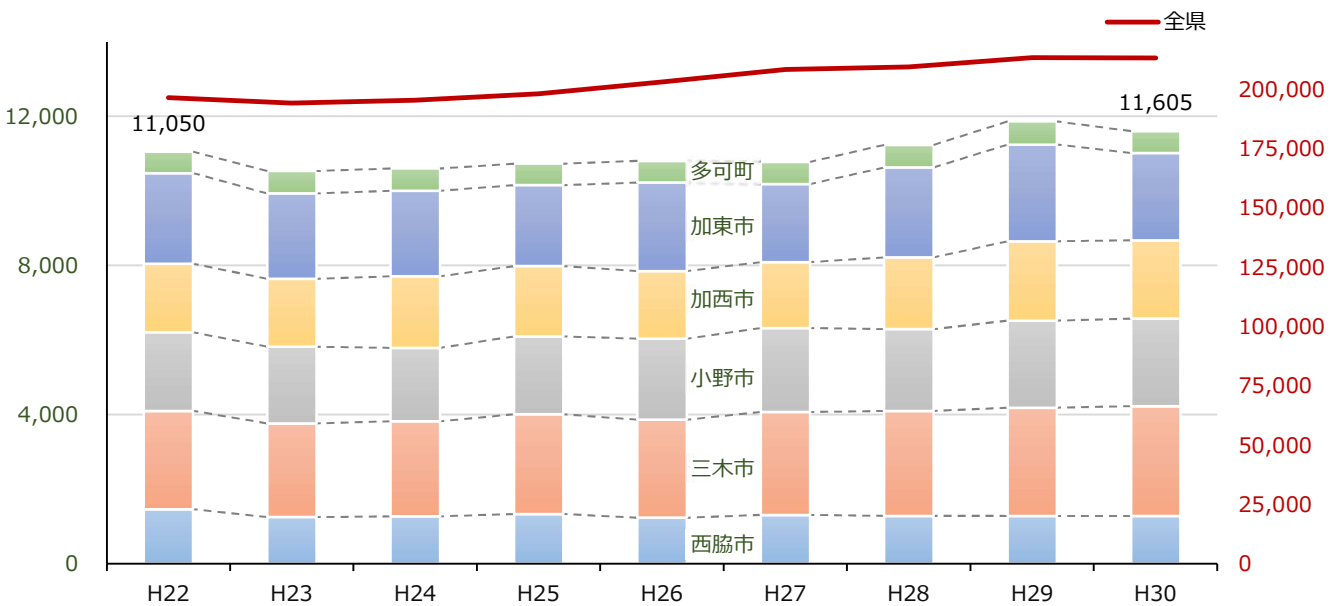
2018(H30)年度(速報)の管内の GDP (名目) は、1 兆 1,605 億円で、前年度に比べ減少したものの経年とみると増加傾向にある。

GDP の推移

(単位:億円)

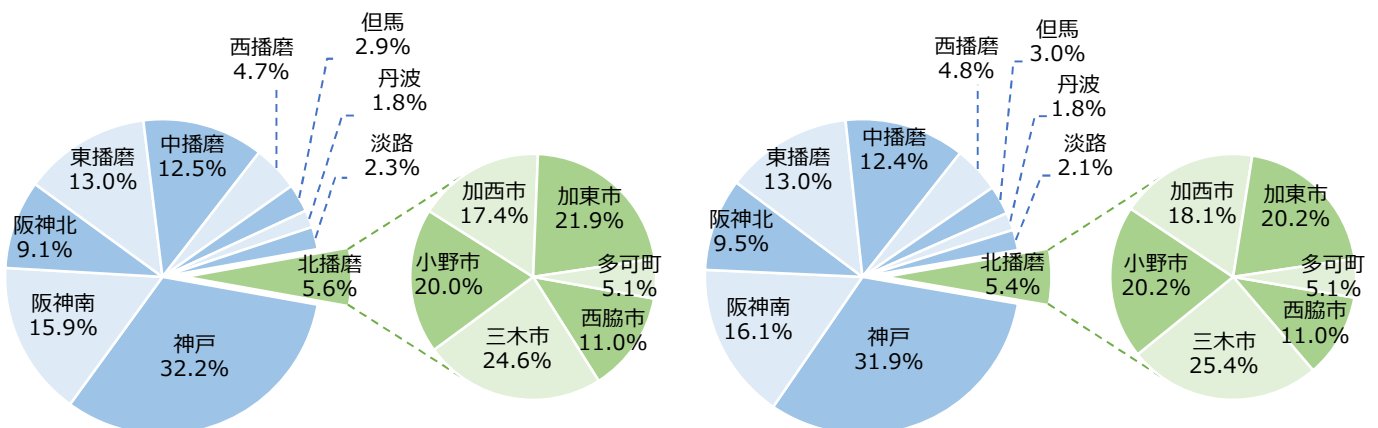
市町名	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
西脇市	1,462	1,250	1,269	1,333	1,232	1,309	1,283	1,282	1,279
三木市	2,638	2,513	2,551	2,675	2,631	2,761	2,814	2,903	2,947
小野市	2,108	2,056	1,971	2,089	2,172	2,253	2,195	2,336	2,348
加西市	1,839	1,823	1,918	1,885	1,816	1,770	1,925	2,128	2,103
加東市	2,431	2,290	2,295	2,173	2,372	2,094	2,412	2,594	2,339
多可町	572	602	598	575	584	594	606	620	590
北播磨(A)	11,050	10,535	10,601	10,730	10,806	10,780	11,234	11,863	11,605
(A/B)	5.6%	5.4%	5.4%	5.4%	5.3%	5.2%	5.4%	5.6%	5.4%
全県(B)	196,449	194,102	195,293	198,048	203,040	208,294	209,378	213,288	213,097

※兵庫県市町民経済計算



地域別 GDP 割合(H22 年度)

地域別 GDP 割合(H30 年度)



※補助円(市町)グラフ(管内内訳)は北播磨計に対する割合

(2) 産業構造の状況

産業別に見ると農業や林業などの第一次産業は、ほぼ横ばいで推移しており、第2次、第3次産業が増加傾向にある。

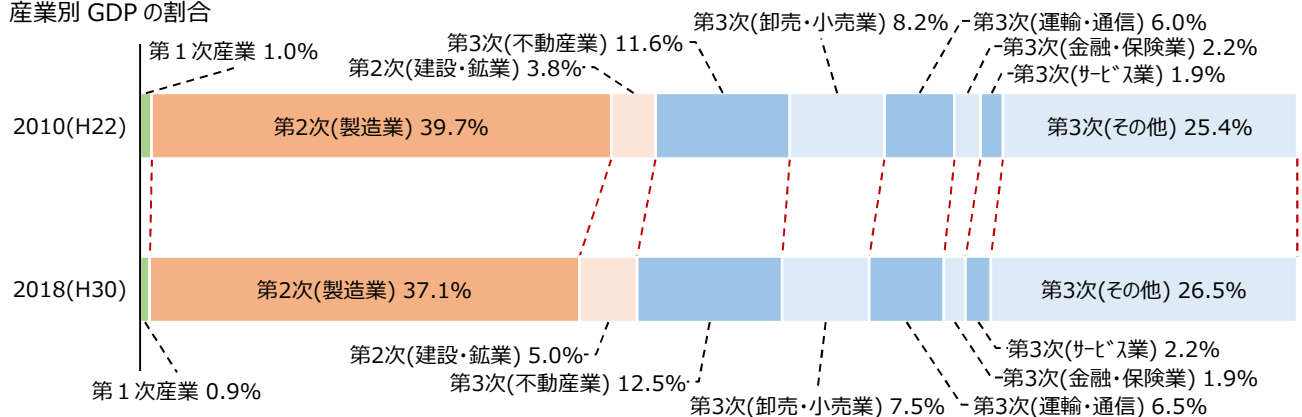
北播磨地域の産業別 GDP の推移

(単位:億円)

	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
第1次	113	115	125	119	89	102	112	112	99
第2次	4,793	4,417	4,430	4,448	4,457	4,202	4,636	5,099	4,862
第3次	6,104	5,948	5,990	6,094	6,167	6,401	6,446	6,593	6,587
その他	40	56	56	69	92	75	40	58	57
計	11,050	10,535	10,601	10,730	10,806	10,780	11,234	11,863	11,605

※兵庫県市町民経済計算

産業別 GDP の割合



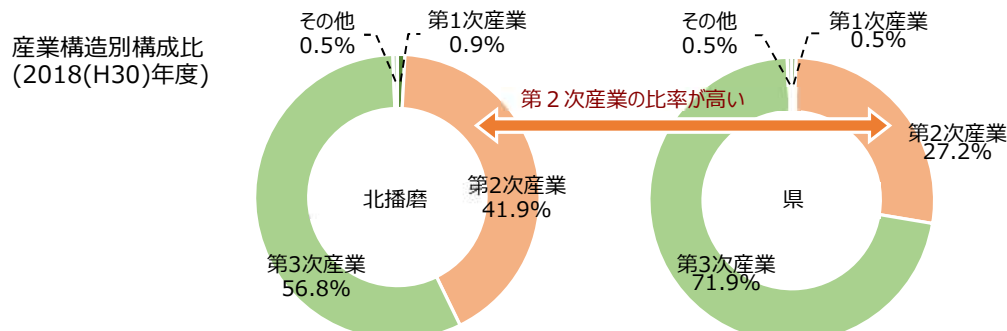
圏域別産業構造

(単位:億円)

地域名	2010(H22)					2018(H30)				
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他	計	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他	計
神戸	32	13,375	49,614	229	63,250	57	13,788	53,722	334	67,900
阪神南	10	8,335	22,793	113	31,250	5	8,119	26,057	169	34,351
阪神北	36	4,310	13,469	65	17,880	38	5,077	15,085	100	20,300
東播磨	58	10,583	14,853	93	25,586	49	10,951	16,627	137	27,764
北播磨	113	4,793	6,104	40	11,050	99	4,862	6,587	57	11,605
中播磨	100	7,683	16,590	89	24,462	99	8,227	17,893	130	26,349
西播磨	92	3,441	5,696	34	9,262	133	3,415	6,568	50	10,166
但馬	182	1,099	4,396	21	5,698	207	1,321	4,800	31	6,359
丹波	72	1,228	2,172	13	3,485	71	1,287	2,449	19	3,825
淡路	244	1,045	3,220	16	4,525	252	821	3,384	22	4,478
計	938	55,892	138,908	711	196,449	1,010	57,867	153,172	1,048	213,097

※その他・・・輸入品に課される税・関税

※兵庫県市町民経済計算



(3) 工場立地状況

2019(R1)年の工場立地件数は、7件と前年に比べ減少しているが、立地した敷地面積は、前年度を上回っている。また2010(H22)年からの累計でみると県内の約2割が北播磨地域である。

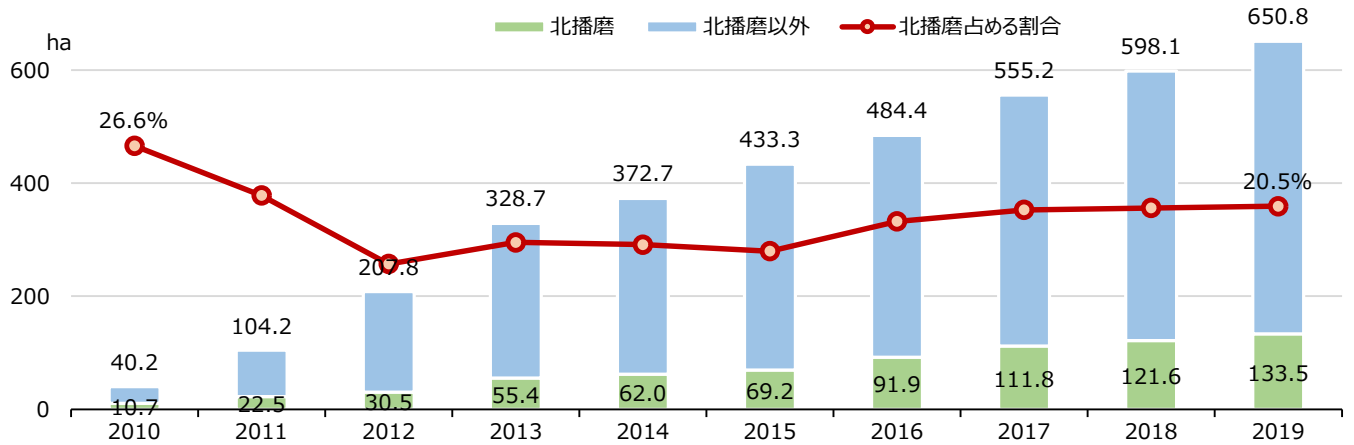
工場立地件数及び敷地面積の推移

(単位:件)

	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
北播磨	9件 10.7ha	11件 11.8ha	11件 8.0ha	17件 24.9ha	6件 6.6ha	10件 7.2ha	13件 22.7ha	13件 19.9ha	15件 9.8ha	7件 11.9ha
全 県	44件 40.2ha	56件 64.0ha	68件 103.6ha	65件 120.9ha	47件 44.0ha	73件 60.6ha	56件 51.1ha	59件 70.8ha	56件 42.9ha	48件 52.7ha

※工場立地動向調査

工場立地面積(累計)



(4) 管内製造業の状況(従業員4人以上の事業所)

管内事業所数は減少傾向にあるが、従業者数及び製造品出荷額は増加傾向にある。

製造業の状況

(単位:所・人・億円)

区 分	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
事業所数	北播磨	1,154	1,238	1,193	1,146	1,118	...	1,239	1,018
	全 県	9,555	9,658	9,294	9,017	8,710	...	9,032	7,798
従業者数	北播磨	36,066	36,025	33,454	35,929	36,435	...	36,444	38,573
	全 県	359,236	350,732	349,687	352,318	350,429	...	348,097	361,956
製造品出荷額等	北播磨	10,772	10,607	10,479	10,746	11,856	11,620	11,878	12,614
	全 県	141,838	143,574	143,470	140,269	148,884	154,457	151,054	-

※工業統計調査

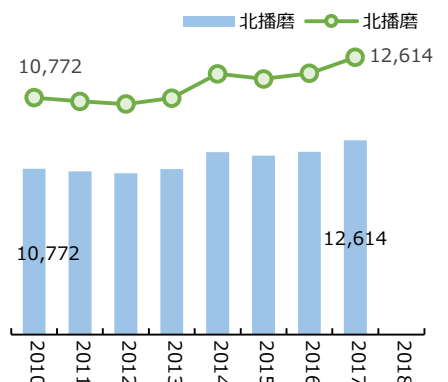
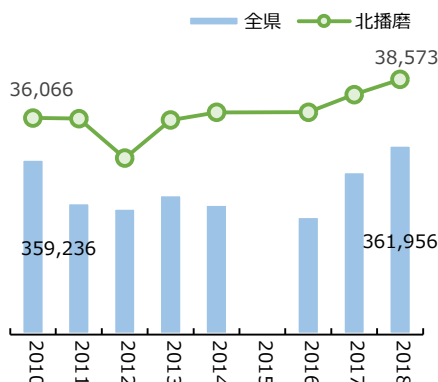
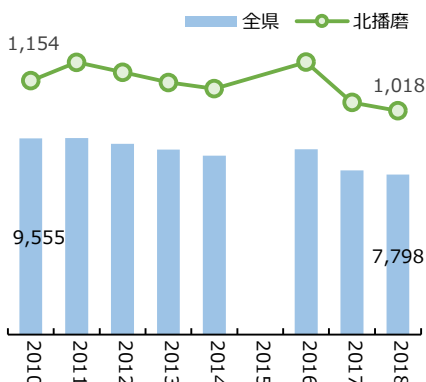
※事業所数及び従業者数は、H28以降は6月1日現在、その他年次は12月31日現在の数値

※製造品出荷額等は1月1日～12月31日の一年間の合計

事業所数の推移(所)

従業者数の推移(人)

製造品出荷額等の推移(億円)



(5) 管内製造業の状況（従業員4人以上の事業所）

ショッピングセンター、コンビニエンスストアなどの競合、都市部への人口流出や後継者不足により、減少傾向にあるが、H28は増加に転じた。

製造業の状況

(単位:所・人・億円)

区分		H14 (2002)	H16 (2004)	H19 (2007)	H23 (2011)	H26 (2014)	H28 (2016)
事業所数	北播磨	4,102	3,927	3,597	2,489	2,484	2,515
	全 県	68,451	66,265	61,597	41,261	41,549	42,050
従業者数	北播磨	25,253	24,044	22,681	16,642	16,966	17,508
	全 県	453,965	445,928	434,283	308,730	326,123	352,423
年間商品 販売額	北播磨	6,095	5,763	5,695	4,599	4,861	5,140
	全 県	131,776	129,147	132,693	125,605	121,079	143,794

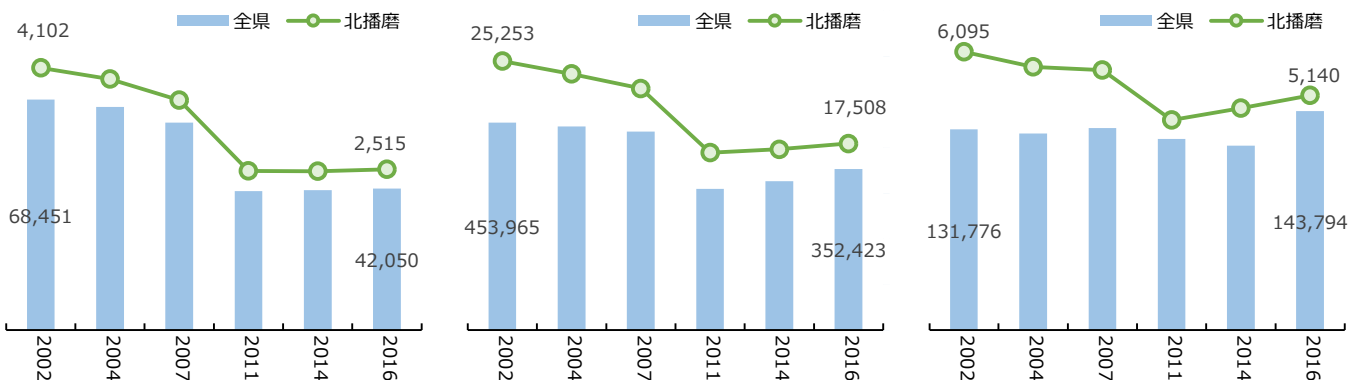
※H14、H19、H26は商業統計調査、H16は商業統計調査(簡調査)

※H23、H28は経済センサス

事業所数の推移(所)

従業者数の推移(人)

年間商品販売額の推移(億円)



(6) 有効求人倍率(原数値)の状況

西脇管内の有効求人倍率は全県を上回って推移しているが西神は全県より低い水準で推移している。

有効求人倍率の推移

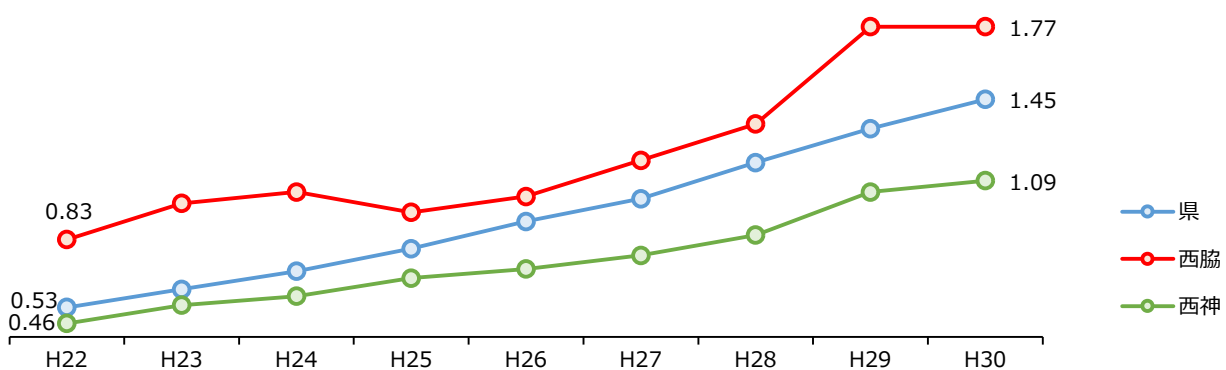
(単位:倍)

管轄地	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
西 脇	0.83	0.99	1.04	0.95	1.02	1.18	1.34	1.77	1.77	1.61
西 神	0.46	0.54	0.58	0.66	0.70	0.76	0.85	1.04	1.09	0.99
全 県	0.53	0.61	0.69	0.79	0.91	1.01	1.17	1.32	1.45	1.38
全 国	0.56	0.68	0.82	0.97	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55

※西脇(西脇市、小野市、加西市、加東市、多可郡)、西神(三木)

※西脇・西神の有効求人倍率は、労働局調べ

有効求人倍率(原数値)の推移



9. 農業の状況

(1) 農業産出額の推移

北播磨の2018(H30)年の農業産出額は197.6億円で、前年度より減少したが、経年では増加傾向にある。

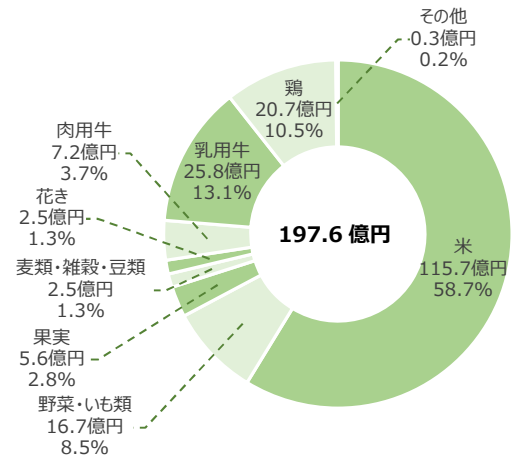
農業算出額の推移

(単位:億円)

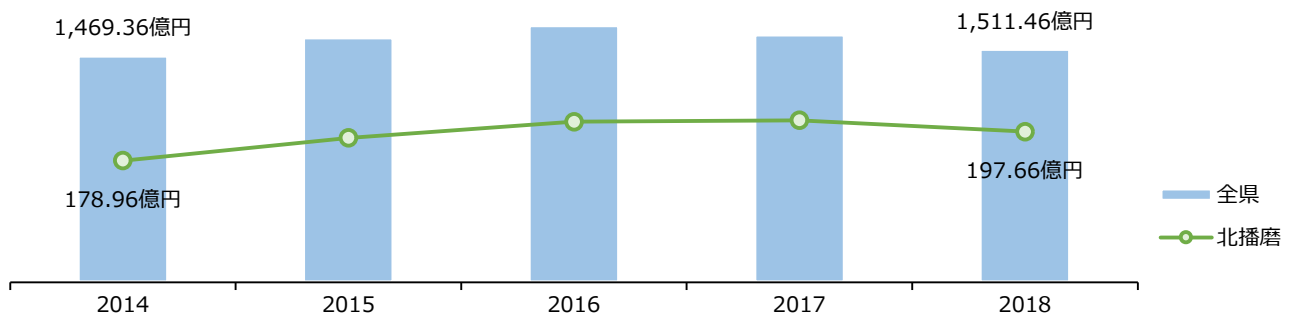
市町名	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
西脇市	14.7	16.5	17.0	16.2	15.4
三木市	45.1	49.3	53.3	52.3	49.6
小野市	35.4	38.3	41.1	41.1	39.5
加西市	36.0	38.6	40.2	41.3	40.6
加東市	27.5	29.4	30.6	31.7	30.8
多可町	20.2	21.5	21.9	22.4	21.7
北播磨(A)	178.9	193.6	204.1	205.0	197.6
(A/B)	12.2%	12.2%	12.3%	12.8%	13.1%
全県(B)	1,469.3	1,587.8	1,665.1	1,606.1	1,511.4

※市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

北播磨地域の農業算出額内訳(2018(H30)年)



農業算出額の推移



(2) 農業就業人口および新規就農者の推移

農業就業人口は年々減少傾向にある。また新規就農者数は、2015(H27)年の40人をピークに減少しており、近年は約30人で推移している。

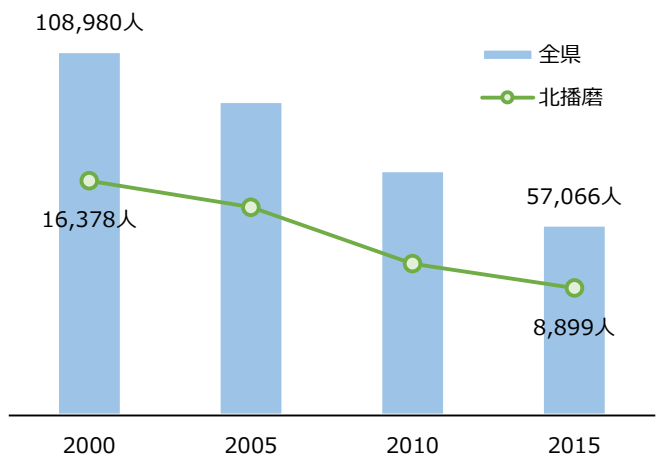
農業就業人口の推移

(単位:人)

市町名	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)
西脇市	1,174	1,054	739	560
三木市	3,796	3,575	2,568	2,244
小野市	2,581	2,334	1,506	1,312
加西市	4,277	3,418	2,455	1,883
加東市	3,032	2,896	2,309	2,215
多可町	1,518	1,257	1,012	685
北播磨(A)	16,378	14,534	10,589	8,899
A/B	15.0	15.5	14.4	15.6
全県(B)	108,980	94,003	73,366	57,066

※農林業センサス

農業就業人口の推移



新規就農者数の推移

(単位:人)

	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
北播磨	16	11	30	24	35	40	28	28	26	26
全県	187	193	296	291	303	311	297	279	256	243

※加東農林振興事務所調べ

(3) 耕作放棄地の状況

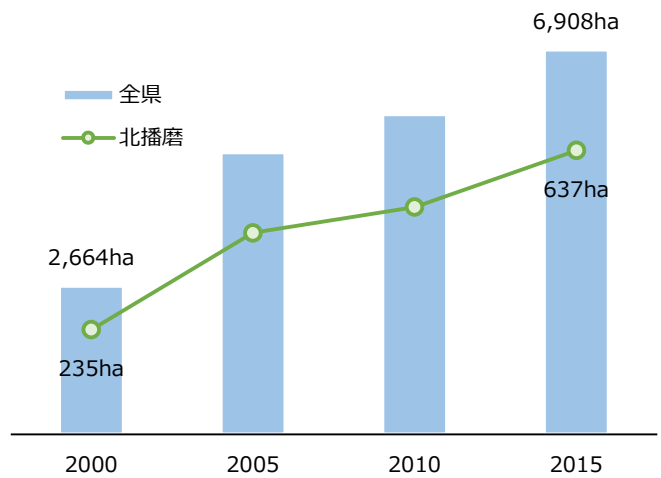
管内各市町の耕作放棄地は毎年増加傾向となっており、H12(2000)年と比較すると402haの増加(約270%増)となっている。

耕作放棄地面積 (単位:ha)

市町名	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)
西脇市	15	40	44	57
三木市	55	116	111	139
小野市	34	59	83	119
加西市	83	142	173	185
加東市	28	58	59	73
多可町	20	37	40	64
北播磨(A)	235	452	510	637
A/B	8.8%	8.9%	8.9%	9.2%
全 県(B)	2,664	5,062	5,748	6,908

※農林業センサス

耕作放棄地面積の推移



(4) シカ・イノシシによる農林業被害面積及び被害額

シカ、イノシシによる被害は毎年発生しているが、シカ被害は減少傾向にある。一方イノシシ被害は増加傾向にある。

シカによる農林業被害

(単位:千円、ha)

区分		H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
北播磨	被害額	88,279	73,202	81,411	57,024	36,008	20,126	15,526	14,393	14,682
	被害面積	70.59	...	57.72	42.95	32.1	28.38	16.95	17.98	19.22
全 県	被害額	470,689	435,802	360,110	303,274	226,073	194,990	182,394	175,737	220,280
	被害面積	360.37	310.17	260.59	243.86	214.48	194.40	179.76	150.97	194.74

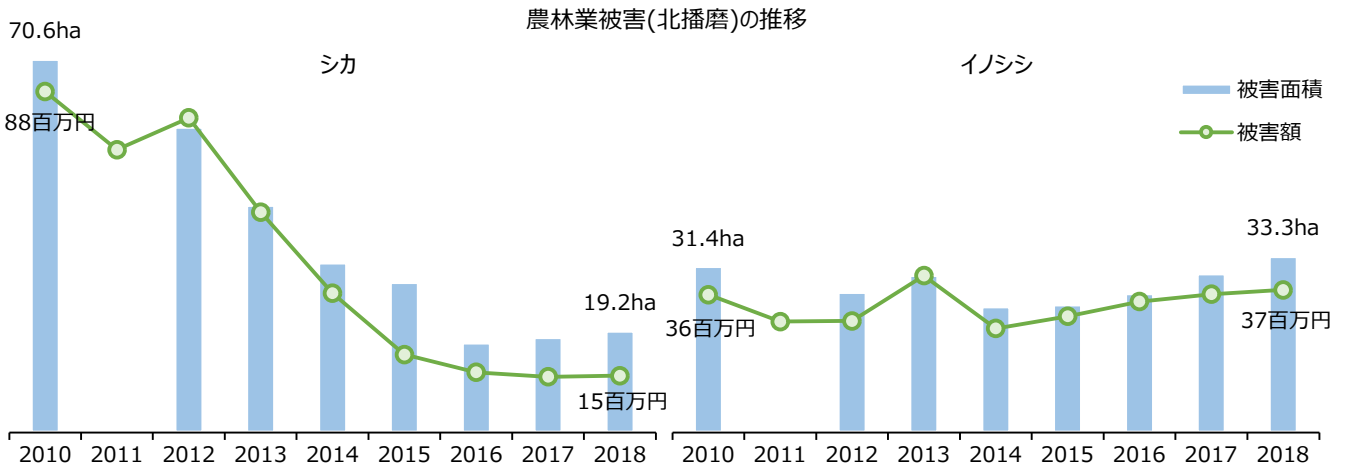
※加東農林振興事務所調べ、H23 北播磨被害面積は不明

イノシシによる農林業被害

(単位:千円、ha)

区分		H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
北播磨	被害額	35,633	28,676	28,825	40,592	26,871	30,020	33,846	35,758	36,872
	被害面積	31.41	...	26.50	29.70	23.78	24.14	26.27	30.04	33.31
全 県	被害額	294,009	254,784	234,017	269,191	244,000	218,362	195,130	182,548	220,091
	被害面積	251.46	210.07	194.68	221.15	208.65	179.80	162.62	160.19	181.95

※加東農林振興事務所調べ、H23 北播磨被害面積は不明



10. 交通安全の状況

北播磨管内における人身事故件数は、減少傾向にある。

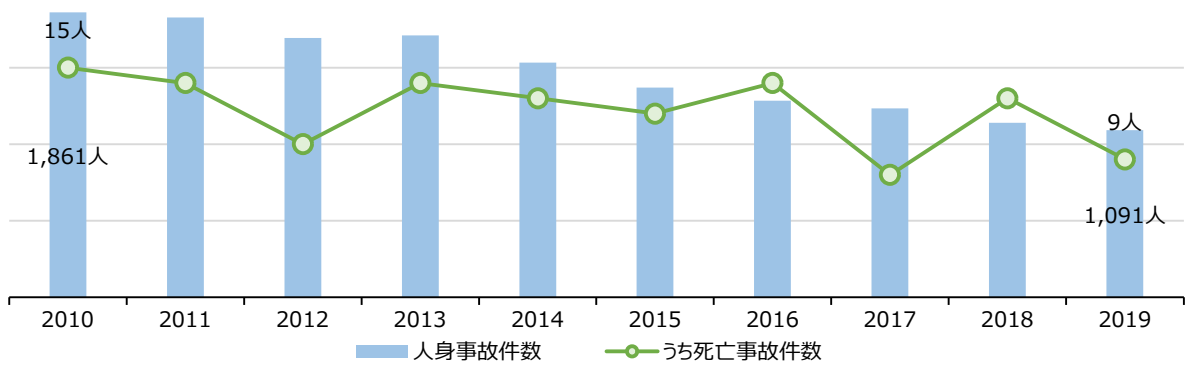
交通事故発生状況

(単位:人)

区分		H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
北播磨	人身事故件数	1,861	1,828	1,695	1,710	1,532	1,369	1,283	1,234	1,140	1,091
	うち死亡事故件数	15	14	10	14	13	12	14	8	13	9
	うち高齢者	10	8	6	9	11	7	6	7	8	7
県	人身事故件数	36,594	36,195	34,056	32,734	30,118	28,542	27,340	26,791	24,667	22,896
	うち死亡事故件数	192	198	179	187	182	171	152	161	152	138
	うち高齢者	95	94	87	107	103	84	80	86	90	76

※交通事故統計【兵庫県警察】

北播磨における交通事故発生状況の推移



11. 兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）の状況

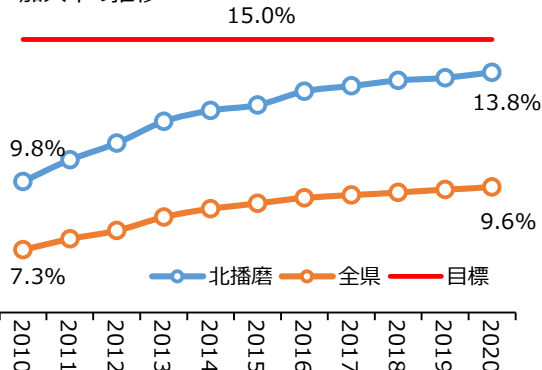
2005(H17)年9月から始まり、加入促進を図っている。北播磨は全県に比べても加入率は高い。

住宅再建共済制度（フェニックス共済）の加入状況

市町名	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
西脇市	8.7%	9.3%	9.6%	9.6%	10.6%	10.6%	10.7%	10.8%	10.9%	10.9%
三木市	11.3%	12.1%	12.5%	12.7%	13.1%	13.4%	13.7%	13.9%	14.0%	14.0%
小野市	18.5%	19.9%	20.7%	21.1%	22.0%	22.5%	22.6%	22.5%	22.8%	22.7%
加西市	8.3%	9.0%	9.2%	9.6%	9.7%	9.8%	9.9%	9.9%	10.1%	10.2%
加東市	9.0%	9.4%	9.7%	9.9%	10.0%	10.1%	10.4%	10.6%	11.0%	11.2%
多可町	10.6%	11.4%	12.0%	12.0%	12.1%	12.1%	12.4%	12.2%	12.5%	12.5%
北播磨	11.2%	12.0%	12.4%	12.6%	13.1%	13.3%	13.5%	13.6%	13.8%	13.8%
全県	8.0%	8.5%	8.8%	9.0%	9.2%	9.3%	9.4%	9.5%	9.6%	9.6%

※(公財)兵庫県住宅再建共済基金調べ

加入率の推移



市町別加入率の推移

